



東洋大学

東洋大学アジア・アフリカ文化研究所 研究年報 第1－36号

東洋大学アジア文化研究所 研究年報 第37－50号

総目次

東 洋 大 学
ア ジ ア 文 化 研 究 所
(旧・アジア・アフリカ文化研究所)

東洋大学アジア文化研究所（旧 アジア・アフリカ文化研究所）
研究年報 創刊号（1966年）～第50号（2015年）総目次

『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所研究年報』（1966–2001）および『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所研究年報』（2002-）が2015年度で50号を迎えるにあたり、総目次を作成しました。

デジタル・データは本研究所サイトで公開しますので、必要ある方は、事項名・人名・地名などのキーワード検索も容易にできるようになります。

総目次の中から、本研究所で世に問うてきた論文・調査報告を見渡し、必要とされる文献を活用していただければ幸いです。

なお、創刊号から41号（2006）までの論文は、1 枚の**CD-ROM** に収めて、**CD ブック**として作成し、在庫を十分有していますので、必要な方は重さ145g 分の郵券を貼った、送付先のあて先を記載した封筒をお送りいただければ、贈呈いたします。

47号以降の論文等は東洋大学学術情報リポジトリで公開しています。

46号以前の論文のオンライン公開については、各執筆者に許諾を求める作業を始めています。研究所との連絡が途絶えている元研究員の本人・遺族の方が、もしこれをご覧になりましたら、研究所にご一報いただければ幸いです。

本総目次の著作権は東洋大学アジア文化研究所に属するものとします。

オンライン版の公開にあたり、先に出版した印刷版の前書きの一部を訂正しました。

2016年4月15日

東洋大学アジア文化研究所

所長 松 本 誠 一

〈凡 例〉

I 本書は『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所研究年報』1966年（創刊号）～2002年（第37号）および『東洋大学アジア文化研究所研究年報』2003年（第38号）～2015年（第50号）に至る論文および調査・研究活動、研究会合報告等に関する総目録である。

II 巻号別総目録

- ①本書の構成は、第一部では各号に掲載された論文および調査・研究活動、研究会合報告などの全内容を、巻号・掲載順に収録した。第二部では、第一部の著者索引を収録した。
- ②巻号の表題には、巻号表示につづいて、発行年月を記載した。
- ③各題目・項目名／著者・報告者名／掲載ページ数の順番に記載した。

III 著者・報告者別索引

- ①本索引は、巻号別総目録を著者・報告者別（アルファベット順）に編纂したもので、同一著者の論文・報告を一箇所にまとめて記載している。
- ②各著者・報告者については、それぞれ日本語表記／外国語表記／掲載巻号の順に記載した。
- ③各著者・報告者については、基本的に姓の順序に従って採録順の基準とした。なお、姓が無く、名前のみの場合はこの限りではない。
- ④各著者・報告者の外国語表記に関しては、姓をアルファベット大文字で記載し、名をアルファベット小文字で記載した。
- ⑤各著者・報告者で、表記は異なるが同一人物と認められる場合、各表記において別表記に誘導している。但し、書体の別表記（旧字体、新字体の区別）はこの限りではない。原則新字体表記としている。※（→○○○○も見よ。）等
- ⑥外国人著者・報告者であっても、通常日本語で通用している人名については、日本語読みの表記でも記載し、外国語表記に誘導している。※（→○○○○も見よ。）等
- ⑦各著者・報告者は、論文・報告の区別は煩瑣となるため行わず、混在して記載している。

卷号別総目録

○1966年（創刊号） 1967年 3 月発行

創刊に寄せて	市村其三郎	1～2
イスラム教徒の祈禱	内藤 智秀	3～8
宗教の行法の比較文化的研究—禪とヨーガおよび自律訓練法との関係を中心にして—	恩田 彰	9～16
旧約聖書圏における祭式の様態—之を佐久間鼎先生にたてまつる—	野溝七生子	17～30
礼樂よりみたる古代日本と中国との交渉—開皇七部伎の定置と倭国伎とをめぐって—	飯塚 勝重	31～42
研究所八年のあゆみ	船木 勝馬（編）	43～45
研究所所報		46

○1967年（第2号） 1968年 3 月発行

アフリカ人の宗教と経済—民族文化の生成と発展—	カール・マインホフ（著）・高橋統一（訳）	1～58
第七回国際人類学・民族学会議—〈アフリカ部会〉について—	高橋 統一	59～61
〔研究例会報告〕		
シムボジュウム「宗教儀礼の基本的研究課題」		62～66
東アフリカから帰って	高橋 統一	66～67
マグリブの社会	内藤 智秀	67～68
研究所所報		69～70

○1968年（第3号） 1969年 3 月発行

日本民族史上のヤマタイ時代—本稿は、一九六八年版・拙著・日本革命史（悠久出版）の第一章に修正を試みたものである—	市村其三郎	1～18
古代中国における蛮族の諸伝説をめぐって	谷口 房男	19～34
イスラエル教育のナショナリズム—イスラエル・ナショナリズムにおける Zionism と Judaism の関係をめぐって—	倉内 史郎	35～49
禪と催眠	恩田 彰	51～55
A Psychoanalytic Study of Japanese Linguistic Symbolic Processes: Relevance to Occidental Schizophrenia	MOSES BURG	56(横25)～80(横1)
〔研究例会報告〕		
中国古代における儼祭について	船木勝馬・飯塚勝重・谷口房男	81～82
研究所所報		83～84

○1969年（第4号） 1970年 3 月発行

〔調査報告〕		1
三宅島調査報告（1）近世における三宅島の景観	佐藤 俊雄	2～9
三宅島調査報告（2）三宅島の神社と年中行事	千葉 栄	10～37
滋賀県の宮座の現況—社会人類学的予備調査—	高橋 統一	39～70
〔故佐久間鼎博士追悼録〕		71～78
精神文化の使徒—故佐久間先生のプロフィール—	市村其三郎	73～74
佐久間鼎先生の思い出	恩田 彰	74～77
佐久間先生のおんこと	野溝七生子	77～78

〔研究例会報告〕

ヨーロッパ所見	野溝七生子	79
三国時代の武陵蛮について	谷口 房男	79～80
研究所所報		81～82

○1970年（第5号） 1971年3月発行

ヒミコの古墳	市村其三郎	1～28
宮座の社会人類学的調査Ⅰ—滋賀県湖南と湖東—	高橋 統一	29～81
拓跋部の華北支配への道	船木 勝馬	83～91
ガンペルト著『ヒンドゥ教先史』	井上 敬一（訳）	93～98
実感的ギリシア—アジアとの接点として—	野溝七生子	99～106
〔研究例会報告〕		
インドネシア回教法	杉浦 正健	107
アジア散見	井上 敬一	108
宗教儀礼に関する実地調査地の選定について（討論）	研究員全員	108
タクバツ部の華北支配への道	船木 勝馬	108～109
東南アジアにおける華僑社会の変貌をさぐって	呉 主恵	109
研究所所報		110～111

○1971年（第6号） 1972年3月発行

宮座の社会人類学的調査Ⅱ—滋賀県湖西と湖北—	高橋 統一	1～59
明代回教諸国朝貢表	渡辺 宏	61(横60)～120(横1)
〔研究例会報告〕		
最近における日・土関係	内藤 智秀	121
広州記の研究	渡辺 宏	121
座談会「文化接触とライフヒストリー」—アーメッド＝アッパナイ氏を囲んで—		121～124
会津若松神道資料調査	千葉 栄	124
会津若松の教育調査	西村 誠	124～125
『華陽国志』の舞台	船木 勝馬	125
研究所所報		126～127

○1972年（第7号） 1973年3月発行

宮座の社会人類学的調査Ⅲ	高橋 統一	1～74
研究所所報		75
中原音韻の研究	森川久次郎	76(横19)～94(横1)
〔研究例会報告〕		
『華陽国志』の版本について	菊池 良輝	95
『華陽国志』からみた西南中国の歴史地理	飯塚 勝重	95～96
『華陽国志』に見えたる物産について	渡辺 宏	96
『華陽国志』にみえる漢代の製塩と塩官	池田 雄一	96～98
タイの近代化	駒井 洋	98
晋代の武都氏楊氏について	谷口 房男	99
『華陽国志』研究		99

人類学者の観たネパール—留学の印象—	黒田信一郎	99～100
猪苗代 土津神社関係資料調査報告	千葉栄・佐藤俊雄	100
会津若松附近教育調査報告	西村 誠	100
研究所所報		101

○1973年（第8号） 1974年3月発行

アラブ連合のゆくえ	内藤 智秀	1～10
華陽国志人名索引稿	谷口 房男（編）	12(横116)～130
〔研究例会報告〕		
宮座の社会人類学的調査Ⅳ	高橋 統一	131
解放前後十年の中国社会	今富 正巳	131
新島調査	千葉栄・西村誠・佐藤俊雄	131
『華陽国志』訳注編集研究会		132
研究所所報		133

○1974年（第9号） 1975年3月発行

史記列傳考Ⅱ—「二十南游」と「貨殖列傳」—	新田 幸治	1～10
肅慎の楛矢に関する一試論	飯塚 勝重	11～24
華陽国志訳注稿（1）	船木 勝馬（編）	25～86
華陽国志民族関係語彙索引稿	谷口 房男（編）	88(横16)～106
〔研究例会報告〕		
明治期の社会思想—特に社会主義思想について—	針生 清人	107
東亜同文会	中下 正治	107
朝鮮研究概観—文化人類学の立場から—	松本 誠一	108
ソ聯・欧州の東洋学研究近況報告—敦煌文献研究を中心に—	金岡 照光	108～109
『華陽国志』訳注研究会		109
研究所所報		110～111

○1975年（第10号） 1976年3月発行

日本におけるマルコ・ポーロⅠ	渡邊 宏	1～18
華陽国志訳注稿（2）	船木 勝馬（編）	19～71
〔研究例会報告〕		
「高年齢者世帯」の家族構成と人口移動—鹿児島県S部落調査報告—	清水 浩昭	73
ソ連領シルク・ロードを旅して	井上 敬一	73
シムポジウム「アジア地域の宗教・言語および教育の比較文化的研究のあり方」	今富正巳・渡邊宏・西村誠	73～74
カシュガリア・オアシス考—ヤクブ・ベク治下（一八六五—七七）のバーザールを中心として—	真田 安	74
宮座の社会人類学的調査Ⅴ	高橋統一・清水浩昭	75～76
洪武年間・明朝の西南中国少数民族政策について	小林 隆夫	76
西北タイの山地民について	谷口 房男	76
宮座の社会人類学的調査	高橋統一・中村俊亀智・清水浩昭	76～77
『華陽国志』訳注編集研究会		77～78

史料採訪報告	千葉 栄	78
研究所所報		79～81

○1976年（第11号） 1977年 3 月発行

筑波山東北麓の三方境	市村其三郎	1～6
日本におけるマルコ・ポーロⅡ	渡邊 宏	7～28
漢籍書目に於ける著者の位置	山内 四郎	29～42
宮座の社会人類学的調査Ⅳ—滋賀県蒲生町下麻生の事例—	高橋統一・清水浩昭・中村俊亀智・高尾公矢・松本誠一	43～62
華陽国志訳注稿（3）	船木 勝馬（編）	63～147
〔研究例会報告〕		
最近のフランス社会学会の動向—マグレブ踏査報告をかねて—	福鎌 忠恕	149
シンポジウム「アジア地域の宗教・言語および教育の比較文化的研究」のあり方について（二）		149～154
漢字文化圏における詩話の諸問題	船津 富彦	149～150
国語の文化性に就いて	野溝七生子	150～153
神奈川開港に伴う英米の経済的進出と武州大一揆	平野 耿	153～154
〔研究例会報告〕		
魏の武帝の神仙文学について	船津 富彦	154～155
宮座とその周辺	高橋 統一	155
宗教的行の催眠心理学的比較考察	恩田 彰	155～156
〔研究調査報告〕		
宮座の社会人類学的調査	高橋統一・中村俊亀智・清水浩昭	156
『華陽国志』訳注研究会		156
「宗教儀礼の比較文化的研究」調査	千葉 栄	156
第八回催眠シンポジウム「宗教における儀式と行」への参加報告	恩田 彰	156
研究所所報		157～159

○1977年（第12号） 1978年 3 月発行

白鳥を追って—古事記に於ける印歐語族的のもの—比較文学の一方法による—	野溝七生子	1～10
日本におけるマルコ・ポーロⅢ	渡邊 宏	11～24
土屋家所蔵文書目録（二）	千葉栄・佐藤俊雄	25～42
〈研究動向〉一九四九年以後の中国における農民戦争史研究について	小林 隆夫	43～52
華陽国志訳注稿（4）	船木 勝馬（編）	53～135
〔研究例会報告〕		
インド社会におけるカーストをめぐる不浄の觀念について—社会人類学的考察—	高尾 公矢	137
〔シンポジウム報告〕		
「アジア地域の宗教・言語および教育の比較文化的研究」のあり方について（三）		137～139
筑波山神社境内地の問題	市村其三郎	138
日本人の創造性について	恩田 彰	138～139

〔シンポジウム報告〕

「比較文化論をめぐって」 高橋 統一 139～140

小堀桂一郎「日本人の死生観」〈講座・比較文化〉第七巻『日本人の価値観』第一章

恩田 彰 140～141

長島信弘「日本の社会関係—既成イメージの解析」〈講座・比較文化〉第六巻『日本人の社会』第十章

高橋 統一 141～142

〈講座・比較文化〉第四巻『日本人の生活』

渡邊 宏 142～143

「魏志」とそれ以前について

新田 幸治 143～144

〈講座・比較文化〉第八巻『比較文化への展望』

針生 清人 144～145

〔研究例会報告〕

余呉・下丹生の宮座調査から

高橋統一・清水浩昭・高尾公矢 145～146

明代広西の非漢民族と土司制度

谷口 房男 146～147

〔研究調査報告〕

宮座の社会人類学的調査

高橋統一・清水浩昭・高尾公矢 147～148

『華陽国志』訳注研究会

148

沖縄県における公教育（学校教育及び社会教育）の地域的支持基盤の構造的変化に関する研究予備調査・報告

倉内史郎・西村誠 148

研究所所報

149～151

○1978年（第13号） 1979年3月発行

詩句中における怨・恨の用字考 I—棄婦篇—

阿部正次郎 1～12

宮崎滔天の「支那革命」の思想

針生 清人 13～30

現代中国の少数民族政策について—自治区域の変遷を中心として—

谷口 房男 31～46

日本におけるマルコ・ポーロⅣ

渡邊 宏 47～68

土屋家所蔵文書目録（三）

千葉栄・佐藤俊雄 69～90

華陽国志訳注稿（5）

船木 勝馬（編） 91～128

〈研究ノート〉「高齢化社会」における家族研究をめぐって—調査研究のための素描—

清水 浩昭 129(横42)～136(横35)

農民社会の変化過程をとらえる一視点—S. H. Brandesの理論的枠組に則して—

芳賀 正明 137(横34)～150(横21)

漢語の変遷—入声字の変遷を中心として—

森川久次郎 151(横20)～170(横1)

〔研究例会報告〕

ハイム・ポトクの作品『選ばれしもの』にみるユダヤ的教育について

倉内 史郎 171～173

中国の古蹟をたずねて

谷口 房男 173～174

西安碑林について

本田 春玲 174～175

静岡県田方郡湯ヶ島町本柿木土屋家所蔵文書「文禄三年御水帳」を中心に

佐藤 俊雄 175～176

〔研究調査報告〕

宗教儀礼および宮座関係資料調査

高橋 統一 176

宮座の社会人類学的調査

高橋統一・清水浩昭・芳賀正明・高尾公矢 176～177

『華陽国志』訳注研究会

177

沖縄の教育（学校教育及び社会教育）における地域的性格の形成とその変容に関する現地調査

倉内史郎・西村誠・比嘉佑典 177

研究所所報

178～180

○1979年 創立二十周年記念号（第14号） 1980年 3 月発行

アジア・アフリカ文化研究所の役割	磯村 英一学長	4～5
研究所創立二十周年を迎えて	恩田 彰所長	6～10
宗教革命の成功と吉野王朝の断絶	市村其三郎	11～26
續シルク・ロード—古事記に於ける印歐語族（ギリシア）的のもの—比較文學の一方法による第二—	野溝七生子	27～42
禪の悟りと創造性—とくに禅問答を中心として—	恩田 彰	43～58
世界航海史とジョン・ロック—比較宗教学の濫觴—	福鎌 忠恕	59～86
厳復晩年の思想—その伝統思想観について—	中下 正治	87～114
土屋家所蔵文書目録（四）	千葉栄・佐藤俊雄	115～131
宮座の社会人類学的調査Ⅴ—滋賀県伊香郡余呉町下丹生の事例—	高橋統一・清水浩昭・芳賀正明・高尾公矢・松本誠一	133～158
Summary of the Report on “Factionalism in the People’s Republic of China and its Interpretations by Western scholars”.	Olivier Ansart	159(横82)～162(横79)
THERAPIST SELF-PRESENTATION THERAPY (TST): A SPECIAL APPROACH IN LIFE-SPACE PSYCHOANALYTIC THERAPY FOR SCHIZOPHRENIA (Aspects of Life-Space Psychoanalytic Therapy. No.2)	Moses Burg	163(横78)～166(横75)
NOTES ON SOME THEORETICAL ISSUES IN LIFE-SPACE PSYCHOANALYTIC THERAPY (Aspects of Life-Space Psychoanalytic Therapy. No.1)	Moses Burg	167(横74)～172(横69)
J・G・フィヒテの法及び国家思想—初期思想を中心として—	鎮西 恒也	173(横68)～192(横49)
宣教師の用いた『東方見聞録』	渡邊 宏	194(横47)～206(横35)
中米関係正常化，日中関係正常化に関する諸外交文書の系統的分析		
—中国語公文書の文体について—	今富 正巳	207(横34)～226(横15)
中国の言語	森川久次郎	227(横14)～240(横1)
〔研究所創立二十周年記念行事〕		241～245
特別講演（要旨）「東アフリカの近代化、ウガンダ地方都市と農村の近代化過程」	大森 元吉	242～245
シンポジウム「日本におけるアジア・アフリカ文化の理解」	高橋 統一	245
（一）日本人の西アジア・アフリカ観	渡邊 宏	245～246
（二）世界史教科書に見るアジア・アフリカ—東南アジア史—	小林 隆夫	246～248
（三）戦後日本におけるアジア・アフリカ像構築のとりくみ	谷口 房男	248～251
討論	高橋 統一	251～252
〔研究例会報告〕		
韓国部落祭と日本の宮座について—堂祭一事例から—	松本 誠一	253
中国旅行を終えて—トルファン・ウルムチ・蘭州・鞏県ほか—	池田 雄一	254
〔調査研究活動〕		
宮座の社会人類学的調査	高橋統一・清水浩昭・芳賀正明・高尾公矢・松本誠一	255
バグ理論研究会	モーゼス・バグ	255
沖縄県における学校教育及び社会教育の地域的特性に関する現地調査	倉内史郎・西村誠・比嘉佑典	255
『華陽国志』訳注研究会		255
アジア・アフリカ文化研究所研究年報総目次		256～261
研究所所報		262～264

○1980年（第15号） 1981年 3月発行

シドニーとロックー Liberty and Property —	福鎌 忠恕	1～32
一九八〇年に於ける中国の古典文学研究	波多野太郎	33～56
湖南堂山祭の祭祀組織と変化—全羅南道長城郡長城邑 Y 里の事例、ファジュ（化主）と当家を中心に—	松本 誠一	57(横88)～76(横69)
『民族研究』『民族團結』總目次・補遺	谷口房男・安藤義教	77(横68)～88(横57)
阮朝初期国家祭祀の一考察	高津 茂	90(横55)～116(横29)
J・G・Fichte の国家論—その中期思想を中心として—	鎮西 恒也	117(横28)～138(横7)
中国の言語（二）	森川久次郎	139(横6)～144(横1)
〔研究例会報告〕		
沖縄県における教育（学校教育及び社会教育）の地域的性格に関する研究	倉内史郎・西村誠・比嘉佑典	145
狂気の世界の精神分析的考察—東洋と西洋のクロスカルチュラルの研究に関連して—	モーゼス・バーグ	145～146
韓国南部の古代文化—済州島からソウルへ—	玉口 時雄	146
李朝建初期に於ける仏教の性格について	高津 茂	147～148
東南アジアに対する研究発想	呉 主恵	148～149
韓国南部の農村調査から	高橋統一・松本誠一	149
〔調査研究活動〕		
近代日本における「アジア観」と「世界観」の研究	針生 清人	150
第六回国際ヨガ指導者協会総会・第一回国際総合ヨガ世界大会参加報告	恩田 彰	150～151
宮座の社会人類学的調査	高橋統一・清水浩昭・芳賀正明・高尾公矢・松本誠一	151
韓国の村祭り祭祀組織調査	高橋統一・松本誠一	151
『華陽国志』訳注研究会		151
研究所所報		152～155

○1981年（第16号） 1982年 3月発行

読中国近刊虚詞研究書	波多野太郎	1～10
宮座の社会人類学的調査Ⅵ—奈良県生駒郡平群町福貴畑の事例—	高橋統一・清水浩昭・芳賀正明・高尾公矢・松本誠一	11～34
契約講の社会人類学的研究Ⅱ—山形県最上郡および西村山郡の事例—	高橋統一・清水浩昭・芳賀正明・高尾公矢・松本誠一	35～94
呉華著『マレーシア華人会館史略』（一）	森川久次郎・今富正巳・谷口房男（共訳）	95(横104)～130(横69)
シンガポール華人の言語生活についての調査（中間報告）	今富 正巳	131(横68)～141(横58)
高山族とその言語	森川久次郎	142(横57)～146(横53)
J・G・Fichte の国家思想—後期国家論を中心として（Ⅰ）—	鎮西 恒也	147(横52)～168(横31)
ジョン・ロック『知性試論・仏訳摘要』（一）	福鎌 忠恕	169(横30)～198(横1)
〔研究例会報告〕		
シンガポール・マレーシアにおける客家同郷会館について	谷口 房男	199
最近の魏晉思想家“王弼”関係の資料整理について—「王弼集校釈」読後—	波多野太郎	199～200
菩薩戒の心理学的考察—とくに禪戒を中心として—	恩田 彰	200～202
イスラムと第三世界—チュニジアを一例として—	福鎌 忠恕	202～203

時間論の諸相—西田幾多郎の時間論に則して—	小林 忠秀	203～206
〔調査研究活動〕		
沖縄県における教育の地域的性格に関する調査研究—学力問題を中心として—	恩田彰・西村誠	206～207
日本におけるマルコ・ポーロ研究調査	渡辺 宏	207
「宗教の儀礼と行の比較文化的研究」調査	千葉 栄	207
中国の小説戯曲史研究に関する文献調査	波多野太郎	207
近代日本における「アジア観」と「世界観」の研究	針生 清人	207～208
文献調査	新田幸治・中下正治	208
中国における神話・伝説に現われたる民族性の研究	船津 富彦	208～209
韓国社会教育調査	倉内 史郎	209
韓国の村祭り祭祀組織調査	松本 誠一	209
『華陽国志』訳注研究会		209
研究所所報		210～212
○1982年（第17号） 1983年3月発行		
司馬遷と諺の周辺	新田 幸治	1～10
華陽国志訳注稿（6）	船木 勝馬（編）	11～71
沖縄辺名地の社会人類学的調査Ⅰ—シヌグ祭祀と村落構造—	高橋統一・大越公平	73～90
呉華著『マレーシア華人会館史略』（二）	森川久次郎・今富正巳・谷口房男（共訳）	91（横106）～156（横41）
〈研究ノート〉阮朝初期ヴェトナムにおける水神祭祀について—ヴェトナム北部を中心として—	高津 茂	157（横40）～170（横27）
マレーシア華人の言語と華文文学の調査報告	今富 正巳	172（横25）～196（横1）
〔研究例会報告〕		
偏見の内部構造について—京都市における市民意識調査を中心として—	高尾 公矢	197～198
〔公開講演会報告〕		
韓国漁業共同体の成立と展開—全南・紅島の事例を中心に—	朴 光淳	198～200
〔研究例会報告〕		
最近の上海を訪ねて	今富 正巳	200～204
生きた人間を見る眼—スペイン・フィリピン・秩父に係わりはじめて—	芳賀 正明	204～206
韓国教育事情の予備調査から	倉内 史郎	206～207
〔調査研究活動〕		
「契約講の社会人類学的研究」調査	芳賀正明・高尾公矢	208
沖縄県における学校教育及び社会教育の地域的性格に関する実態調査	西村誠・比嘉佑典・島袋勉	208
南西諸島の祭祀組織に関する社会人類学的調査	高橋統一・大越公平	208～209
東洋と西洋のパーソナリティと社会生活および言語の正常性・異常性に関する精神分析的調査	モーゼス・バーグ	209
明代西南民族研究	谷口 房男	209～210
インドネシア共和国における地域開発と教育の関連についての実態調査	西村誠・小泉允雄	210
研究所所報		211～214

○1983年（第18号） 1984年 3 月発行

沖縄辺名地の社会人類学的調査Ⅱ—清明祭と門中組織—	高橋統一・大越公平	1～24
中国における少数民族研究の近況—とくに西南民族に関する出版物を通して—	谷口 房男	25～33
中国人のマルコ・ポーロ観	渡邊 宏	34～46
インドネシアの「貧困の文化」研究をめぐって	小泉 允雄	47～66
国際華文文芸営ノート—シンガポール・マレーシア華文文芸の総括と展望—	今富 正巳	67(横66)～88(横45)
韓国の「自然部落」について	松本 誠一	89(横44)～104(横29)
J・G・Fichte の国家思想—後期国家論を中心として（Ⅱ）—	鎮西 恒也	105(横28)～132(横1)

〔調査研究活動〕

「中国少数民族研修と交流の旅」に参加して	谷口房男・小林隆夫	133～146
中国点描	小林 隆夫	147～164
韓国社会教育調査	倉内 史郎	165
南西諸島の祭祀組織に関する社会人類学的調査	高橋統一・大越公平・松本誠一	165
ムラ社会の「世界観」に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	166
ヴェトナム史文献調査	高津 茂	166～167
〔研究例会報告〕		
インドネシアの近代化と教育およびその周辺	西村誠・小泉允雄	168～169
中国滞在の一年	池田 雄一	169
台湾の漢民族と高山族	高橋 統一	169
研究所所報		170～173

○1984年（第19号） 1985年 3 月発行

インドネシア社会の近代化と伝統的イスラム教育の対応—ポンドック・ゴンドルを例として—	西村誠・西野節男	1～24
奄美諸島の教育—流人と手習い・喜界の場合—	本田 徹夫	25～32
元曲疏證	波多野太郎（譯）	33～48
〈研究ノート〉日本家族論研究ノート	清水 浩昭	49～70
J・G・Fichte の法と道徳—その初期思想を中心として（Ⅰ）—	鎮西 恒也	71(横50)～90(横31)
奄美・宇検の社会変動と民俗宗教—ノロ祭祀を中心に—	高橋 統一	91(横30)～120(横1)
〔調査研究活動〕		
韓国研究消息 一九八三—八四年	松本 誠一	121～128
東洋と西洋のパーソナリティと社会生活および言語の正常性・異常性に関する精神分析的研究	モーゼス・バーク	129
ムラ社会の「世界観」に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	129～130
南西諸島の祭祀組織に関する社会人類学的調査	高橋統一・大越公平	130
韓国社会教育調査報告	倉内 史郎	130～131
インドネシア（中部ジャワ付近）におけるイスラム教育施設の探訪	西村 誠	131～132
〔研究例会報告〕		
上海〈申報〉について	中下 正治	133～134
インドネシアにおけるイスラム教育の現状	西村誠・西野節男	135

陽虎試探	新田 幸治	135～136
宮古・国仲の祭祀構造—予備調査報告—	高橋統一・大越公平	136～138
わが国高齢者の人口移動をめぐる—国土庁および総務庁の調査結果を手がかりとして—	清水 浩昭	138
〔公開講演会報告〕		
中国現代詩の芸術的価値について	許 世旭	139～142
研究所所報		143～148
○1985年（第20号）1986年3月発行		
大原幽学の思想と実践	針生 清人	1～18
陽虎管窺	新田 幸治	19～28
近世沖縄の文化状況	島袋 勉	29～40
インドネシアにおける伝統的イスラム教育の変容Ⅰ		
—プサントレン・クラピヤの事例—	西野 節男	41～64
護法ファム・コン・タック小史試訳—カオダイ教聖典の考察（Ⅰ）—	高津 茂	65(横108)～85(横88)
シンガポール華文新詩の起源および発展の方向	王潤華（著）、今富正巳（訳）	86(横87)～92(横81)
「行事」考—ムラ社会の祭政一致型主宰者としての—	芳賀 正明	93(横80)～121(横52)
J・G・Fichteの法と道徳—その初期思想を中心として（2）—	鎮西 恒也	122(横51)～148(横25)
マレーシア華文文学の高潮と低潮—その歴史的社会的背景—	今富 正巳	149(横24)～172(横1)
〔調査研究活動〕		
韓国大学消息	松本 誠一	173～178
南西諸島の祭祀組織に関する社会人類学的調査	高橋統一・大越公平	179
ムラ社会の「世界観」に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	179～180
東洋と西洋の深層心理における言語的及び非言語的シンボリズムの精神分析的研究	モーゼス・バーグ	180
〔研究例会報告〕		
韓国私立大学での一年半	松本 誠一	181
ヴェトナムに於ける初期キリスト教史について	高津 茂	181～183
〔公開学術講演会〕		
韓国における教育改革の主要課題	郭 泳宇	183
〔研究会報告〕		
日韓教育の比較	郭 泳宇	183～184
〔研究例会報告〕		
訪曲阜記	中下 正治	184～186
〔公開講演会報告〕		
中国山西省科学技術協会創造力開発考察団公開講演会	恩田 彰	186
科学技術の創造発明をどう見るかについて	祝 平	187～188
中国の工業企業体の創造力の開発について	張 玉岭	188～192
〔研究例会報告〕		
明初の雲南政策	小林 隆夫	192～193
研究所所報		194～199

○1986年（第21号） 1987年3月発行

陽虎管窺Ⅱ	新田 幸治	1～10
天津『国聞報』研究Ⅰ	中下 正治	11～34
沖縄文化とパーソナリティー研究—〈沖縄人間学〉の素描—	比嘉 佑典	35～47
インドネシアにおける伝統的イスラム教育の変容Ⅱ		
—タレカットのプサントレン（スルヤラヤ）の事例—	西野 節男	49～74
華陽国志訳注稿（7）	飯塚勝重・菊池良輝・谷口房男・北條祐勝・山内四郎	75～159
『法正伝注解』訳考〔1〕—カオダイ教聖典の考察—	高津 茂	160(横29)～174(横15)
インドネシア開発論争における Kubudayaan（文化）の位置づけⅠ		
—「開発と文化」論争の焦点と背景—	小泉 允雄	175(横14)～182(横7)
马华文学在抗战初期的一些问题—马华文学的独特性、地方色彩—	今富 正巳	183(横6)～188(横1)
〔調査研究活動〕		
中国の墓誌—唐代を中心に—	高橋 継男	189～193
中国点描（二）	小林 隆夫	194～211
沖縄における村落共同体と言語に関する研究	恩田彰・比嘉佑典・島袋勉	212
ムラ社会の「世界観」に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	212～213
韓国の近代化と伝統的価値観（教育改革と伝統的価値観）調査		
	阿部正次郎・新田幸治・中下正治	213～215
韓国の近代化と伝統的価値観（人口変動と地域社会における価値観）調査		
	高橋統一・清水浩昭・松本誠一	215
東洋と西洋の深層心理における言語的及び非言語的シンボリズムの精神分析的研究		
	モーゼス・バーグ	215～216
沖縄・南西諸島における文化伝承過程に関する研究	針生清人・比嘉佑典・大越公平	216～217
『華陽国志』訳注研究会		217
〔講演会報告〕		
中国文学論研究への提言	船津 富彦	218～221
〔国際学術交流講演会〕		
モンゴルの歴史と文化—モンゴル人民共和国の現在の諸事情—		
	ルフサンドーギーン・ダシュプルブ	222～223
〔研究例会報告〕		
呉傑教授を囲む会	呉 傑	223
実務家のアジア観と“アジア学”のギャップをめぐる	小泉 允雄	224～225
〔シンポジウム報告〕		
アジア学と日本学		225
〔報告会〕		
韓国の近代化と伝統的価値観		225～226
〔座談会報告〕		
中国における日本文学について	卞 立強	226
〔研究例会報告〕		
韓国における国史教育の歴史	森田 芳夫	226～227
研究所所報		228～234

○1987年（第22号）東洋大学創立100周年記念号 1988年3月発行

カントの『人間学』	福鎌 忠恕	1～24
天津『国聞報』研究Ⅱ	中下 正治	25～57
祖先崇拜と韓国の社会システム—特に安東郡川前洞・義城金氏の事例を中心として—	崔 柏	58～82
近代沖縄教育における同化政策の展開	島袋 勉	83～94
韓国の社会変化と老人の役割—経済開発政策樹立前の状況—	金 龍澤	95～102
李朝建初期の国家と仏教	高津 茂	104(横50)～120(横34)
HAN PHILOSOPHY AND MODERN SOCIETY	崔 岐洪	121(横33)～132(横22)
韓国産業社会に於ける創造性開発教育の必要性	朴 華述	133(横21)～137(横17)
馬華文学の独自性をめぐる論争—華僑から華人へ、華人社会意識形態の変容—	今富 正巳	138(横16)～153(横1)
〔報告 東洋大学創立一〇〇周年記念 日韓国際シンポジウム「伝統と近代化」〕		154～194
近代化に伴う社会構造とその意識	朴 在侃	155～164
近代化に伴う社会変動—文化と人口行動—	河野 稠果	165～170
地域からみた諸問題	柳 時中	171～179
地域社会からみた伝統と近代化—日韓比較の試み—	高橋 統一	180～187
韓国の教育における伝統と近代化	郭 泳宇	188～190
明治以降の教育にみる近代化と伝統の関係について	倉内 史郎	191～193
シンポジウムを終えて	針生 清人	194
〔調査研究活動〕		
中国点描（三）	小林 隆夫	195～204
学校教育および社会教育の地域的特性に関する研究—喜界島の教育探訪—	西村誠・本田徹夫	205
韓国の近代化と伝統的価値観	針生清人・恩田彰・中下正治・松本誠一・竹内老子	206～207
沖縄に於ける文化伝承過程に関する調査	阿部正次郎・新田幸治	207～208
韓国の近代化と伝統的価値観—教育における伝統的価値観の影響について—	倉内 史郎	208
沖縄における文化伝承過程に関する実証的研究調査	針生清人・比嘉佑典・島袋勉	208～209
朝鮮学資料調査	松本 誠一	209
韓国の近代化と伝統的価値観（人口変動と地域社会における価値観）調査	高橋統一・清水浩昭・松本誠一	209～212
韓国の近代化と伝統的価値観	針生清人・中下正治	212～215
『華陽国志』訳注研究会		215
ムラ社会の「世界観」に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	216
東洋と西洋の深層心理における言語的及び非言語的シンボリズムの精神分析的研究	モーゼス・バーグ	216～217
〔講演会報告〕		
東洋と西洋—Ex oriente lux, ex occidente dux—	福鎌 忠恕	218
〔研究例会報告〕		
九回の旅行を通じて見たソ連という国	井上 敬一	219～222
〔講演会報告〕		
中国における創造性教育および研究の現況	許 立言	223～225

〔シンポジウム報告〕

東洋大学創立百周年記念 日韓国際シンポジウム「伝統と近代化」 225～227

〔講演会報告〕

韓国の産業界における創造性教育の必要性 朴 華述 227

〔研究例会報告〕

韓国における漢字とハングル 森田 芳夫 228～231

研究所所報 232～239

○1988年（第23号）1989年3月発行

井上円了の足跡 針生 清人 1～22

韓国社会教育法（一九八二）の性格について 倉内 史郎 23～31

祭司と抽籤制 大越 公平 33～42

インドネシアの伝統的イスラム教育組織における制度化の特質
—プサントレン・リルボヨの事例— 西野 節男 43～60

華陽国志訳注稿（8）
谷口房男（研究代表）・飯塚勝重・菊池良輝・北條祐勝・山内四郎 61～128

『法正伝注解』訳考〔2〕—カオダイ教聖典の考察— 高津 茂 129(横78)～144(横63)

済州島の流配文化 梁 淳珽 145(横62)～166(横41)

ここ十年間の中国社会の価値観の変化 凌 星光 167(横40)～175(横32)

中国における教育改革の現状と課題 張 光珮 176(横31)～180(横27)

韓国の契について 崔 在律 181(横26)～190(横17)

馬華文学史を通して観察される華人社会の意識形態の変容 今富 正巳 192(横15)～206(横1)

〔調査研究活動〕

沖縄に於ける大陸文化の影響に関する調査 阿部正次郎・新田幸治 207～209

沖縄県教育事情調査 西村誠・本田徹夫 209

沖縄における文化伝承過程に関する実証的研究 比嘉佑典・島袋勉 210

沖縄における文化伝承過程に関する調査—特に大陸文化の日本に及ぼした影響について—
針生清人・恩田彰 210～211

台湾における考古学的比較文化研究 玉口 時雄 211

中国研修旅行記 佐藤三千夫 211～212

契と契約講—韓日の民俗社会の比較研究— 高橋統一・松本誠一・清水浩昭 213～214

韓国の近代化と伝統的価値観（教育改革と伝統的価値観）の調査

針生清人・新田幸治・中下正治・比嘉佑典・島袋勉・竹内老子 214～215

「南西諸島における抽籤制の文化人類学的研究」に関する調査研究 大越 公平 215

韓国の近代化と伝統的価値観（人口変動と地域社会における価値観）調査 松本 誠一 215～220

韓国の近代化と伝統的価値観 針生清人・中下正治・比嘉佑典 220～221

東洋的言語の深層心理的シンボリズムと精神的異常性のダイナミックスの精神分析的研究
モーゼス・バーグ 222

農民の世界観に関する文化人類学的研究 芳賀 正明 222～223

『華陽国志』訳注研究会 223

〔講演会報告〕

我国古墳の源流をたずねて—中国・韓国・日本の古墳の変遷について— 玉口 時雄 224

東西文化の相補的分析—動機の統一性と形態の相違性— A・R・アラスター 225～231

〔研究例会報告〕

韓国の〈契〉について	崔 在律	231～232
〈契〉と〈契約講〉	崔 在律	232

〔国際学術講演会〕

中国の近代化をめぐる諸問題		233
---------------	--	-----

〔講演会報告〕

済州島の流配文化	梁 淳珽	234
----------	------	-----

〔研究例会報告〕

マレーシア・シンガポール華人（馬華）文学運動史を通じて見る華人意識形態の変遷	今富 正巳	234
--	-------	-----

研究所所報		235～243
-------	--	---------

○1989年（第24号）創立三十周年記念号 1990年3月発行

アジア・アフリカ文化研究所の創立三十周年によせて	神作 光一学長	1～3
新たなる出発に向けて	針生 清人所長	4～5
「アジア・アフリカ文化研究所」由来記	福鎌 忠恕	7～12
アジア・アフリカ文化研究所三十周年に寄せて	井上 敬一	13～16
子弟書「浪樓」提要 増「憶真妃」—「子弟書集」第二集—	波多野太郎	17～33
蒲松齡の小説観	船津 富彦	34～46
明治期の来日外国人の日本観（一）	針生 清人	47～62
中国における社会主義初級段階論—経済面における特徴について—	横川 伸	63～73
華陽国志訳注稿（9）		

谷口房男（研究代表）・飯塚勝重・菊池良輝・小林隆夫・北條祐勝・山内四郎 75～122

韓国の地域社会と老人の地位—伝統と近代化をめぐる—

高橋統一・清水浩昭・金龍澤・松本誠一 123(横122)～166(横79)

Ⅶ 概括：韓国の地域社会と老人の地位—伝統と近代化をめぐる—

高橋 統一 128(横117)～130(横115)

Ⅴ 慶尚北道の老人問題に関する地域特性と両班老人会 松本 誠一 130(横115)～137(横108)

Ⅳ ソウルと全羅南道の老人亭 高橋 統一 137(横108)～150(横95)

Ⅲ 韓国の老人処遇政策の展開とその動向 金 龍澤 151(横94)～158(横87)

Ⅱ 人口と世帯の日韓比較—老人問題の背景— 清水 浩昭 159(横86)～164(横81)

Ⅰ 序論：韓国の文化伝統と老人問題—問題の所在と研究方法—

高橋 統一 165(横80)～166(横79)

契約講の伝統と変容—岩手県和賀町の調査から—

高橋統一・今泉信雄・松本誠一・崔在律 167(横78)～206(横39)

Ⅴ 結論：契約講の伝統と変容 高橋 統一 167(横78)～168(横77)

Ⅳ 岩崎・横川目・山口の契約会—契約講の現存形態— 崔 在律 169(横76)～182(横63)

Ⅲ 煤孫中通り契約会と秋葉講—契約講の構造と機能—

松本誠一・今泉信雄 183(横62)～192(横53)

Ⅱ 調査地の概況：岩手県和賀郡和賀町 高橋統一・今泉信雄 192(横53)～198(横47)

Ⅰ 序論：従来の諸研究と本調査の意図 高橋 統一 199(横46)～206(横39)

シンガポール・マレーシアの華文文学作品に反映される華人社会

楊松年（著）、今富正巳（訳） 207(横38)～212(横33)

資本主義—来し方行く末—	阿部 照男	214(横31)～230(横15)
アジア地域における各国の進路指導（職業指導）の国際比較研究（1）		
—特に中国の教育制度と進路指導を中心に—	吉田 辰雄	231(横14)～244(横1)
蔣星煜教授著「中國戯曲史索隠」讀後	波多野太郎	245～247
岳飛の満江紅の詞をめぐって—葉瑜蓀氏の注目すべき見解—	波多野太郎	247～248
〔報告 アジア・アフリカ文化研究所創立三十周年記念「異文化間コミュニケーションの可能性」〕		249～273
I シンポジウム「異文化としての日本—留学生はこう見る—」		
私の大学生活	トム・ダウリング	250～251
料理を通して見た中国と日本	チン・ヒンヒン（陳浜浜）	252～253
異文化としての日本	カ・シンキン（何信鈴）	253～255
日本人の行為規範について—集団と個人の間で—	アントネッラ・ファヴァロ	255～257
私は日本をこう見る	チャン・セ・チョル（張世哲）	257～259
第二の故郷日本について	ファースチ・ファーズネ	259～261
文化の違いなど問題ではない	クリス・グリーン	261～263
II 講演：人との出会い	古田 暁	264～266
III 総括討論		266～268
アジア・アフリカ文化研究所研究年報総目次		274～284
〔調査研究活動〕		
中国記—六・四後の孔子節—	中下 正治	285～289
離島文化の日韓の比較研究	針生清人・中下正治	289～291
鹿児島県屋久島及び種子島地域を事例とする教育の地域的特性に関する調査	西村誠・比嘉佑典・本田徹夫	291
華陽国志訳注研究会		291
外来文化の沖縄におよぼした影響および抽籤制調査	針生清人・大越公平	291～292
農民の世界観に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	292～293
祭祀組織と社会構造に関する調査	高橋 統一	293
韓国の近代化と伝統的価値観（人口変動と地域社会における価値観）調査	高橋統一・清水浩昭・松本誠一	293～294
華南少数民族資料の収集	谷口 房男	294
〔研究会合報告〕		
アジア・アフリカ文化研究所創立三十周年記念「異文化間コミュニケーションの可能性」		295
〔公開講演会報告〕		
マレーシア・シンガポール華人（馬華）文学と華人社会	楊 松年	296
〔研究例会報告〕		
日・中〈現代化問題シンポジウム〉報告	針生 清人	296
研究所所報		297～303
○1990年（第25号）1991年3月発行		
明治期の来日外国人の日本観（二）—オールコックの場合（1）—	針生 清人	1～13
「地上ノ国」の神学—ヴィーコ『新科学』の成立—	福鎌 忠恕	14～28
元曲疏證—金銭池 元曲選本 十一—	波多野太郎（譯）	29～43
沖縄文化の危機と変容—一九九〇年の主な出来事を通して—	比嘉 佑典	45～70

台湾・高砂族における社会変化—タイヤル族の事例を通して—	大川 正彦	71~88
〈資料〉 インドの企業家 Dhirubhai H. Ambani と Reliance	米田 公丸	90(横65)~110(横45)
Psychological Study of Qigong (気功)	王 極盛	111(横44)~125(横30)
アジア地域における各国の進路指導 (職業教育) の国際比較研究 (2)		
—中国の進路指導・職業技術教育を中心として—	吉田 辰雄	126(横29)~136(横19)
東南アジア華人の思想意識の変容—華僑から華人へ—	今富 正巳	137(横18)~154(横1)
〔シンポジウム報告〕		
「多文化アジアの人間観」	比嘉佑典・芳賀正明	155~170
多文化における「人間」観	ラム・ライチング (林麗貞)	156~159
多民族社会における平和の条件	ピライパン・メカラッタナ	159~161
私の家族と友人	ファーシチ・ファーザネ	162~164
私の人間観	ウトモ・スリ・トニワティ	164~167
東北の「村」における人間	針生 清人	167~170
〔調査研究活動〕		
訪台問答	中下 正治	171
薩南諸島及び沖縄地域における学校教育および社会教育の地域的性格に関する調査	西村誠・比嘉佑典・本田徹夫・島袋勉	172
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	松本 誠一	172~173
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	高橋統一・清水浩昭	173
『華陽国志』訳注研究会		173
外来文化の沖縄に及ぼした影響	針生 清人	173
沖縄における民間信仰の調査—同化政策にみる国家神道との関連で—	比嘉 佑典	173~174
南西諸島における抽籤制の文化人類学的研究	大越 公平	174~175
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	高橋 統一	175
農民の世界観に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	175~176
〔国際学術講演会〕		
中国における気功心理学	王 極盛	177~180
〔研究会合報告〕		
シンポジウム「多文化アジアの人間観」		180
〔研究例会報告〕		
魯迅の死生観	王 相宜	181~183
中国の企業経営の現状	王 慶根	183~188
研究所所報		189~194

○1991年 (第26号) 1992年 3 月発行

明治期の来日外国人の日本観 (三) —オールコックの場合 (2) —	針生 清人	1~12
広西における土司制度の一齣—とくに忻城县土司衙門を通して—	谷口 房男	13~32
西スマトラのイスラーム教育 (1) —スマトラ・タワリブ学校の事例—	西野 節男	33~52
東洋大学図書館漢籍紹介—特に哲学堂旧蔵図書について—	山内 四郎	53~72
華陽国志訳注稿 (10)		

谷口房男 (研究代表)・飯塚勝重・菊池良輝・小林隆夫・北條祐勝・山内四郎	73~121
少数民族における「時」の観念と「所有」観—タイヤル族エヘンにおける事例研究—	大川 正彦 123(横64)~140(横47)

現代日・中教育改革の動向と課題	比嘉佑典・王秋華	141(横46)～174(横13)
志摩今浦の隠居制覚書	高橋 統一	175(横12)～186(横1)
[報告 シンポジウム「多文化アジアの諸問題Ⅰ—インドネシアの場合—」]		187～220
アジアの教育—その多様性と普遍性—	井上 星児	188～204
カリマンタン（ボルネオ）にみる国民統合の教育	西村 重夫	205～213
インドネシアの教育制度と第五次五ヵ年計画におけるマンパワー	Herman HIDAYAT	214～220
[調査研究活動]		
中国西南少数民族に関する文献調査	谷口 房男	221
台湾の教育事情の視察	針生 清人	221
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	高橋統一・清水浩昭・松本誠一	222～223
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	松本 誠一	223
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	清水 浩昭	223～224
『華陽国志』訳注研究会		224
アジアの教育改革と課題—その理念と実際—		
	比嘉佑典・大越公平・西野節男・竹内老子	224～231
農民の世界観に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	231～232
伝統社会の構造的変貌と価値観に係わる調査	米田公丸・阿部照男	232～233
アジアの教育改革と課題—その理念と実際（第二グループ）—	吉田 辰雄	233～236
[研究例会報告]		
東洋大学図書館所蔵の漢籍紹介	山内 四郎	237
最近の中国の教育改革の動向と進路指導（職業指導）	吉田 辰雄	237～239
日中企業教育研究会に出席して—上海宝山鋼鉄コンビナートの場合を中心に—	倉内 史郎	239～241
新疆ウイグル社会のバザル（商業）とマザール（信仰）		
—文献史学とフィールド・ワークのつながり—	真田 安	241～242
[研究会合報告]		
シンポジウム「多文化アジアの教育問題Ⅰ—インドネシアの場合—」		242～243
[研究例会報告]		
アジア大会から水害まで	今田 好彦	243～244
研究所所報		245～254
○1992年（第27号）1993年3月発行		
楕圓思考—日本的發想の一考察—	末木 剛博	1～14
明治期の来日外国人の日本観（四）	針生 清人	15～27
中国の高等教育の理念と実際	陳 俊森	29～44
華陽国志訳注稿（11）		
谷口房男（研究代表）・飯塚勝重・菊池良輝・小林隆夫・北條祐勝・山内四郎		45～110
タイヤル族の社会変化	谷口房男・小林隆夫・大川正彦	111(横50)～134(横27)
韓国における進路指導の現状と課題	吉田辰雄・李達鍾	135(横26)～150(横11)
华文文学在新加坡和马来西亚的政治作用	今富 正巳	151(横10)～160(横1)
[報告 シンポジウム「多文化アジアの教育問題Ⅱ—韓国・台湾の場合—」]		161～181
韓国における教育改革の軌跡と課題	朴 聖雨	162～169
台湾（中華民国）の教育改革—教育制度を中心に—	洪 祖顕	170～181

〔調査研究活動〕

〈モンタナだより〉—アメリカ合衆国に於ける東南アジアの留学生—	米田 公丸	182～187
遼江記	中下 正治	188～189
台湾北部のタイヤル族に関する調査研究	谷口 房男	189
アジアの教育改革と課題	比嘉佑典・大越公平	189～192
韓国の進路指導・職業指導の現状と課題（アジアの教育改革と課題）	吉田 辰雄	192～193
アジアの教育改革と課題—その理念と実際—	恩田 彰	193～194
中国・各種学校の視察	針生 清人	194～196
中国と周辺民族の交流と変遷—台湾のタイヤル族と海南島黎族の比較研究（予備調査）—	谷口房男・大川正彦・小林隆夫	196
アジアの教育改革と課題—その理念と実際—		
	比嘉佑典・阿部照男・大越公平・西野節男・竹内老子	196～208
農民の世界観に関する文化人類学的研究	芳賀 正明	208～209
韓国の進路指導・職業指導の現状と課題	吉田 辰雄	209～210
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	高橋統一・松本誠一・清水浩昭	210～211
アジアの教育改革と課題	倉内 史郎	211～212
『華陽国志』訳注研究会		212
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	松本 誠一	212～213
〔記念講演会〕		
統合的精神分析学および東洋大学国際化の先駆的努力	モーゼス・バーグ	214
政治と思想	末木 剛博	214
マレーシア・シンガポールの華人思想意識の変容—馬華文学を通じて—	今富 正巳	214
〔研究例会報告〕		
フィールド・リポート（映像人類学）志摩から宇和へ—共同体の存続と変容—	高橋 統一	215～216
インドネシアの教育—スコラ・ブサントレン・ムランタウ—		
	比嘉佑典・阿部照男・西野節男・竹内老子	216～217
中国の高等教育の理念と実際	陳 俊森	217
〔講演会報告〕		
中国の伝統的な健康心理学の理論と実演	王 極盛	218～221
〔研究会合報告〕		
シンポジウム「多文化の教育問題Ⅱ—韓国・台湾の場合—」		221～222
〔講演会報告〕		
現代学校教育への提言—創造性の視点から—	アーノルド・B・スクローム	222～227
中国四川省広漢県三星堆遺跡について	徐 朝龍	228～235
〔研究例会報告〕		
シベリア・シャマニズム再生の動き・管見—ヤクーツク国際シャマニズム会議報告—	松本 誠一	235～236
〔講演会報告〕		
音楽家としての孔子の一側面	阿部正次郎	236
研究所所報		237～245

○1993年（第28号）1994年3月発行

明治期の来日外国人の日本観（五）	針生 清人	1～18
『石刻史料新編第一・二・三輯』書名・著者索引	高橋 継男	19(横92)～49(横62)
分析＝解釈における「民俗モデル」と「分析モデル」	芳賀 正明	50(横61)～76(横35)
中国内蒙古自治区のモンゴル相撲―近隣民族の受容をめぐって―	宇佐美隆憲	77(横34)～86(横25)
インドネシアの規制緩和政策と民間経済活動	米田 公丸	87(横24)～98(横13)
アジア地域における各国の進路指導（職業指導）の国際比較研究（3）		
―最近の中国の教育改革の動向と職業指導―	吉田 辰雄	99(横12)～110(横1)
〔報告 シンポジウム「教育の現代的課題―中国・日本の場合―」		111～148
中国高等教育の学科構造の改革と総合化の動向	姚 啓和	112～113
社会構造の変化と大学教育改革の現状―大学・大学院設置基準の改訂をめぐって―		
	針生 清人	113～119
中国高等教育構造の現状と改革	陳 敏	119～120
現代化と高等教育の目標	文 輔相	120～121
日本の教育および企業における創造性開発	恩田 彰	121～125
アジア教育改革の動向―韓国・台湾・インドネシアを中心に―	比嘉 佑典	125～130
経済発展と情報教育	阿部 照男	130～134
中国高等教育投資の現状と趨勢	顧 清揚	134～135
ハイテク技術の発展と中国高等教育	沈 紅	135～136
〔調査研究活動〕		
中国点描（四）	小林 隆夫	149～161
南西諸島における地域教育計画の実施状況について	西村誠・島袋勉	162
中央アジア・新疆ウイグル民族史に関する文献調査	真田 安	162
中国と周辺民族の交流と変遷―海南島と青海省の少数民族調査―	谷口房男・大川正彦・小林隆夫	162
『華陽国志』訳注研究会		162～163
西南日本伝統社会の文化変動	高橋 統一	163
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	松本 誠一	163～165
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究―隠居制について―	清水 浩昭	165
北九州資料調査	谷口 房男	165
アジアの教育改革と課題―その理念と実際―		166～181
沖縄国際協力事業団・国際センターの教育・研修に関する調査	比嘉 佑典	166
上海・成人教育研究会参加と関連施設視察報告	倉内 史郎	166～167
シンポジウム「当代教育面臨的課題―中国和日本的現状―」及び小・中学視察	恩田彰・阿部照男・針生清人・比嘉佑典・王慶根	167～168
韓国の進路指導・職業指導の調査	吉田 辰雄	168～170
韓国の進路指導・職業指導の調査	吉田 辰雄	170～171
インドネシアの教育機関および企業視察	米田公丸・阿部照男・比嘉佑典・大越公平・西野節男・竹内老子	171～181
〔研究例会報告〕		
井上円了の心理学の業績	恩田 彰	182～186

〔講演会報告〕

中国における大学教育改革の現状	鐘 偉芳	187～192
中国における継続工程技術教育	黄 一夫	192～194

〔研究例会報告〕

東アジアにおける相撲研究の現状と課題—研究史の検討を中心に—	宇佐美隆憲	196～204
日本政府の対中文化援助—文化無償協力評価調査団に参加して—	今田 好彦	205～207
シンポジウム「当代教育面臨的課題—中国和日本的現状—」		208
教育の現代的課題—インドネシアの躍進する民間企業グループ—	米田 公丸	209～213
〔公開講演会報告〕		
喜界島の民俗行事—石合戦とハタタミ—	本田 徹夫	214
研究所所報		215～222

○1994年（第29号）1995年3月発行

中国における教育発展戦略と徳育の強化—上海および湖北省について—	針生 清人	1～18
韓国の伝統的親族制度と現代家族	崔 弘基	19～28
亥豕の交わり—古代中国および東北アジアにおける亥と豕・猪の関係—	飯塚 勝重	29～46
日中道德教育の比較研究—小学校の道德教育を中心に—	比嘉佑典・王秋華	47～66
華陽国志訳注稿（12）		

谷口房男（研究代表）・飯塚勝重・菊池良輝・小林隆夫・北條祐勝・山内四郎	67～134
パ・シルムにおける「わざ」の認知と分類—中国吉林省延辺朝鮮族自治州の朝鮮族—	
宇佐美隆憲	135(横16)～150(横1)

〔報告 シンポジウム「多文化アジアの教育問題Ⅲ—中国の場合—」〕		151～167
躍動する中国の教育—中国教育改革の現状とその問題点—	蘇 真	151～160
中国における民族教育の現状	胡 起望	161～167

〔新刊紹介〕雲南少数民族理解のために

—C・ダニエルズ、渡部武編『雲南の生活と技術』（慶友社）を読む—

飯塚勝重・谷口房男	168～174
-----------	---------

〔調査研究活動〕

中国点描（五）	小林 隆夫	175～186
沖縄県における教育の地域性形成に関する研究調査	西村誠・島袋勉	187
華南民族資料の収集	谷口 房男	187
中国における教育改革に関する調査	針生 清人	188
地域生活の近代化と伝統的価値観		

高橋統一・松本誠一・宇佐美隆憲・清水浩昭・小澤康則	188～190
---------------------------	---------

『華陽国志』訳注研究会	191
-------------	-----

〔研究例会報告〕

明代西南民族史の諸問題—とくに『明代西南民族史料』と関連して—	
谷口房男・小林隆夫	192～193

〔講演会報告〕

近代韓国家族と文化的伝統	崔 弘基	193
--------------	------	-----

〔研究例会報告〕

山陰地方の伝統文化とその変化—東硯・大田市の漁村・山村予備調査報告—		
高橋統一・松本誠一	194	

〔講演会報告〕

西アフリカ・カメルーンにおける夢見を用いた通過儀礼過程 井上 亮 195～200

〔研究会合報告〕

日韓文化交流基金助成による「日韓民俗文化の比較」講演会を開催
シンポジウム「多文化アジアの教育問題Ⅲ—中国の場合—」 松本 誠一 200～201
201～203

〔研究例会報告〕

インドネシア教育発展のゆくえ— JICA 専門家としての経験から— 西野 節男 203～209
〔公開ゼミナール「日韓民俗文化の比較」〕 210～218

慶尚北道の民俗文化財の指定・保存・伝承 成 炳禧 210～214

韓国の神話と儀礼に現われる種のモチーフ 李 南植 215～218

〔研究例会報告〕

亥の子の亥（い）について 飯塚 勝重 218

〔退任記念講演会〕

二つの事変の狭間で—在留邦人のみた満州事変および日支事変— 中下 正治 219
研究所所報 220～226

○1995年（第30号）1996年 3 月発行

明治期における倫理の葛藤（一）—所謂「哲学館事件」をめぐる— 針生 清人 1～17

パチカン図書館所蔵耶穌会士中国刊行書目（B. A. V. Racc. gen. or S13）ノート

—付 B. N. de Paris, Nouveau fonds 2835— 渡邊 宏 19～36

アラベッグ（ARAVEG）加盟国の最近の教育改革と進路指導の動向

吉田 辰雄 37(横148)～44(横141)

『李教宗の八道議定』について—カオダイ教聖典の考察— 高津 茂 45(横140)～54(横131)

「アンビエンテ」の吸引力 芳賀 正明 56(横129)～82(横103)

神話・天領・近代化—山陰・東石見の漁村と山村—

高橋統一・松本誠一・宇佐美隆憲・清水浩昭・小澤康則・奥間葉子 83(横102)～184(横1)

終章：東石見の文化伝統と近代化—結びに代えて— 高橋 統一 94(横91)～97(横88)

Ⅶ 東石見の俗信語—口承文化素描— 小澤 康則 98(横87)～108(横77)

Ⅵ 東石見地方における草相撲組織—戦前の花相撲の実態— 宇佐美隆憲 109(横76)～120(横65)

Ⅴ 漁村と山村の村組織 奥間 葉子 121(横64)～131(横54)

Ⅳ 集落と寺院—真宗門徒の拡散と寺檀関係— 高橋 統一 132(横53)～136(横49)

Ⅲ 漁村と山村の人口と家族 清水浩昭・奥間葉子 137(横48)～145(横40)

Ⅱ 漁村と山村の生業構造—天領（銀山領）の近代化— 高橋 統一 146(横39)～160(横25)

Ⅰ 神話への憧憬と神社合祀 高橋 統一 161(横24)～180(横5)

序章：東石見の歴史的背景と近代化—問題の所在— 高橋統一・松本誠一 181(横4)～183(横2)

〔報告 シンポジウム「国際的企業活動にみる文化接触」〕 185～214

「Outside-In」思考でのアジア事業展開 窪田 寛 186～198

中国における異文化接触と相互理解—商社マンの駐在体験から— 田中 忠仁 199～208

我国の海外直接投資による経営資源の移動と文化変容について 米田 公丸 209～214

〔調査研究活動〕

モントリオールの東アジア教育 松本 誠一 215～220

徳之島におけるト占習俗の変容に関する文化人類学的研究—抽籤制研究の一つとして—

大越 公平 221

ヴェトナム少数民族研究に関する文献調査	高津 茂	221～222
地域生活の近代化と伝統的価値観	高橋統一・宇佐美隆憲	222～223
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	高橋 統一	223
先住少数民族調査—台湾・タイヤル族の親族呼称を中心として—	大川 正彦	223～224
『華陽国志』訳注研究会		224
少数民族関係資料の収集	谷口 房男	224～225
東アジアの社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	宇佐美隆憲	225
アジア諸地域の社会構造とその比較文化的研究	大越公平・竹内老子	226～230
〔退職記念講演会〕		
禅の心理学的研究—悟りと創造性をめぐって—	恩田 彰	231～237
〔研究例会報告〕		
毛沢東『矛盾論』と経済学の現実—帝国主義論の展開と中国—	河野 次郎	238～240
台湾人作家・張文環と東洋大学	野間 信幸	241～242
「世界観」分析の可能性—スペイン・アラゴン地方の一山村に生きる人々についての試論的素描—	芳賀 正明	242
〔公開講演会報告〕		
中国の二一世紀の教育を考える—人文教育と科学技術教育のバランスをめざして—	文 輔相	242～243
〔研究会合報告〕		
シンポジウム「国際的企業活動にみる文化接触」		244～245
中国の美意識「虚擬」表現について	有澤 晶子	245～252
〔研究例会報告〕		
韓国の新聞報道を通してみる韓国人の眼—いわゆる村山妄言を例に—	小澤 康則	253～255
研究所所報		256～263
○1996年（第31号）1997年 3 月発行		
明治期における倫理の葛藤（二）—所謂「哲学館事件」をめぐって—	針生 清人	1～13
中国長江三峡考—〈華陽国志〉「巴亦有三峽」をめぐって—	飯塚 勝重	15～40
バチカン図書館所蔵耶穌会士中国刊行書目ノート、続	渡邊 宏	41～54
華陽国志訳注稿（13）		
谷口房男（研究代表）・飯塚勝重・菊池良輝・小林隆夫・北條祐勝・山内四郎		55～112
Cross-Culturel Interaction and Asian Values	Hisamaro Garugu, Eisai Co., Ltd.	113(横76)～118(横71)
日本における葬礼相撲の一形態	宇佐美隆憲	119(横70)～132(横57)
韓国新聞の投書欄にみる日本	小澤 康則	134(横55)～144(横45)
アジア後発近代国家における西洋先進科学の受容と再創造の過程—明治前期の日本における社会科学の認識の生成・発展をモデルに—	井上 星児	145(横44)～162(横27)
日中道德教育の比較研究（2）—中学校の道德教育を中心に—	比嘉佑典・王秋華	163(横26)～175(横14)
広西発現土官印考	谷口 房男	176(横13)～188(横1)
〔報告 シンポジウム「国際的企業活動にみる文化接触Ⅱ」〕		189～216
異文化社会におけるビジネスコミュニケーション	小浜 正幸	190～195
アジアの発展と日本の共生—二一世紀を視野に入れて—	小田川圭甫	196～208

〔調査研究活動〕

アジア諸地域の社会構造とその比較文化的研究

針生清人・阿部照男・比嘉佑典・大越公平・西野節男・竹内老子	217～218
中国長江三峡視察行	針生清人・飯塚勝重 218
『華陽国志』訳注研究会	218
「台湾人作家・張文環の戦前における文学活動」に関する調査	野間 信幸 219～220
東アジアの社会変動と伝統的価値観（日韓比較総合調査「地域生活の近代化と伝統的価値観」）	高橋統一・松本誠一・小澤康則 220～221

〔研究例会報告〕

太宰治の『惜別』に見る戦争協力と戦争抵抗	鄭 国和 222～227
----------------------	--------------

〔講演会報告〕

中国伝統劇・昆劇の舞台表現（講演と実技）	有澤晶子（解説・通訳）・劉異龍・梁谷音 228～230
沖縄における「門中」生成の社会史	比嘉 政夫 231
明治期の日本紹介者とオリエンタリズム	太田 雄三 232～234

〔研究会合報告〕

シンポジウム「国際的企業活動に見る文化接触Ⅱ」	234
-------------------------	-----

〔研究例会報告〕

近代化と伝統文化の日韓比較・韓国東海岸の漁村予備調査報告	高橋統一・松本誠一 234～235
中国長江三峡について—歴史的三峡をめぐる—	飯塚 勝重 235
研究所所報	236～241

○1997年（第32号）1998年3月発行

明治期における倫理の葛藤（三）—所謂「哲学館事件」をめぐる—	針生 清人 1～15
「長江」名称の興りとその意義—江・大江と長江—	飯塚 勝重 16～26
琉球の創造力（一）—チャンプルー創造文化論—	比嘉 佑典 27～50

1920年代中国の「半封建・半植民地」状態と経済発展

—毛沢東の「農村根拠地」についての一考察—	河野 次郎 51(横94)～60(横85)
最近の台湾における教育改革と進路指導の動向	吉田 辰雄 62(横83)～72(横73)
韓国東海岸・漁村社会の近代化と文化伝統—慶尚北道蔚珍郡竹辺の事例—	高橋統一・松本誠一・奥間葉子・金美榮・小澤康則・宇佐美隆憲・鈴木信昭 73(横72)～134(横11)

終章 概括—結びに代えて—	高橋 統一 84(横61)～86(横59)
---------------	-----------------------

Ⅵ 慶尚北道蔚珍郡のキリスト教受容の様態—近代化にみるキリスト教の役割—

	鈴木 信昭 87(横58)～92(横53)
--	-----------------------

Ⅴ 韓国の禁忌語—東海岸の事例—

	小澤 康則 93(横52)～102(横43)
--	------------------------

Ⅳ 竹辺面青年会とシルム同好会

	小澤康則・宇佐美隆憲 103(横42)～111(横34)
--	------------------------------

Ⅲ 正月告祀と豊漁祭—東海岸ボンズジンの祭儀と村組織—

	松本 誠一 112(横33)～119(横26)
--	-------------------------

Ⅱ 竹辺3里の漁村契—トンネ運営との関係をめぐって—

	奥間葉子・金美榮 120(横25)～124(横21)
--	----------------------------

Ⅰ 蔚珍郡・竹辺面の概況と歴史的背景

	松本 誠一 125(横20)～131(横14)
--	-------------------------

序章 問題の所在

	高橋統一・松本誠一 132(横13)～133(横12)
--	-----------------------------

〔Special Meeting report〕

Unique Form of Cultural Traits in Myanmar and Long-lasting Preservation of National Cultural

Heritage（ミャンマーの文化的特色とその文化遺産をめぐって）	H. E. U Soe Win（特命全権大使）	135(横10)～144(横1)
〔特別講演〕		
戦後のミャンマーと私 My Role on Postwar Myanmar	神邊 敏	145～156
〔調査研究活動〕		
大門の高辻相撲の調査	宇佐美隆憲	157～158
中国江陵地区楚文化遺跡及び楚墓調査	佐藤三千夫	158～159
『華陽国志』訳注研究会		159～160
東アジアの社会変動と伝統的価値観（日韓比較総合調査「地域生活の近代化と伝統的価値観」）	高橋統一・松本誠一・小澤康則・鈴木信昭・宇佐美隆憲	160～162
終生学習学術研討会に参加	倉内 史郎	162～163
日本私学振興財団学術研究振興資金助成		
「現代化と文化変容—アジア諸国に展開する国際的企業を中心に—」		164～188
インドネシア・マレーシア調査	米田 公丸	164～167
インドネシア調査	西野節男・大越公平・竹内老子	167～183
ミャンマー調査報告	宇佐美隆憲	184～188
〔特別講演報告〕		
ミャンマーの文化的特色とその文化遺産をめぐって H. E. U Soe Win（特命全権大使）		189
〔研究例会報告〕		
民族学院の現状と課題—続・民族学院訪問記—	谷口 房男	189～190
〔公開講演会〕		
中国伝統演劇・京劇の舞台表現（講演と実技）		
有澤晶子（解説・通訳）・北京京劇院国家一级俳優・演奏家・舞台スタッフ		190～194
〔研究例会報告〕		
中国の半封建・半植民地状態とは何だったのか—「低開発の発展」という観点から考える—	河野 次郎	195
雑踏の中で迎えたカウントダウン—復帰当日の香港と北京報告—	今田 好彦	195～197
〔第三三回白山祭参加企画〕		
ミャンマー・カチン族フェスティバル		197～200
〔特別講演報告〕		
戦後のミャンマーと私	神邊 敏	200
〔研究例会報告〕		
朝鮮後期天主教信徒の西洋観—神父来航の要請計画を中心にして—	鈴木 信昭	201～202
研究所所報		203～210
○1998年（第33号）1999年3月発行		
ヴィトゲンシュタインの「哲学問題」	針生 清人	1～15
琉球の創造力（二）—創造的風土論—	比嘉 佑典	16～36
臨時台湾旧慣調査会における「台湾祭祀公業令」の起草	後藤 武秀	37～49
近代演劇における伝統と変革—梅蘭芳の改革を中心として—	有澤 晶子	50～62
華陽国志訳注稿（14）		
谷口房男（研究代表）・飯塚勝重・菊池良輝・小林隆夫・北條祐勝・山内四郎		63～102
韓国マスコミにおける天皇呼称論争	小澤 康則	103(横34)～116(横21)

ムラを「存続させる」論理（Ⅰ）	芳賀 正明	117(横20)～136(横1)
講演と討論の会「チベット行百年記念 河口慧海・能海寛—二人の先駆者の生涯と今日的意義—」		137～168
河口慧海とその人間関係	高山 龍三	138～139
世界の屋根を目ざした男—能海寛—	隅田 正三	140～150
明治の仏教界	田村 晃祐	151～154
哲学館の「自由討究」教育と河口・能海の世界	三浦 節夫	155～156
慶応義塾時代の能海寛と第二次西藏探検の旅—能海の人間像とその行動の意義—	岡崎 秀紀	157～159
アジアを求めた日本人	谷口 房男	159～162
〔特別寄稿〕雲南西北に消えた能海寛—チベット探検の先駆者殺害の新説を検証する—	中村 保	163～168
シンポジウム「社会変動と価値観の変容」		169～194
アジア諸国の通貨・経済危機の要因と現状	米田 公丸	169～175
東アジアの環境激変と日系中小企業の経営対応	浦田 彰彦	175～177
教育問題として見た社会・経済危機下のアジア—日本との協力関係を中心に—	井上 星児	177～190
〔シンポジウム〈社会変動と価値観の変容〉〕		
教育改革とイスラーム教育のゆくえ	西野 節男	190～194
〔調査研究活動〕		
民族関係資料の収集	谷口 房男	195
広西調査旅行	谷口 房男	195～197
中国における終身学習の展開	倉内 史郎	197～198
『華陽国志』訳注研究会		198
復帰一年の香港現状調査	今田 好彦	198～199
中国における言語文化と社会の総合的研究	若林 建志	199
中国長江の歴史的研究	飯塚 勝重	200
日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金助成		
「現代化と文化変容—アジア諸国に展開する国際的企業を中心に—」		201～228
ミャンマー調査	針生清人・野間信幸	201～204
中国・韓国調査	吉田 辰雄	204～205
中国調査	比嘉 佑典	205
中国調査	針生 清人	205～206
中国の現代化にともなう演劇の変化と内在する問題についての調査	有澤 晶子	206
中国伝統演劇の変容に関する調査	有澤 晶子	206
シンガポール、インドネシア、マレーシア現地調査	米田 公丸	206～209
インドネシア調査	西野節男・宇佐美隆憲・竹内老子	209～219
インドネシアにおけるスポーツの現状	宇佐美隆憲	219～228
〔定年退職記念特別講演〕		
私とアジア・アフリカ文化研究所—宮座調査から日韓漁村調査まで—	高橋 統一	229～239
〔研究例会報告〕		
台湾における祭祀公業—国家なき社会を秩序づけるもの—	後藤 武秀	240
世界の広告・アジアの広告・日本の広告	疋田 聰	240～241

アジア諸国の通貨・経済危機の現状と日本の役割 〔研究会合報告〕	米田 公丸	241～243
チベット行百年記念 河口慧海・能海寛 二人の先駆者の生涯と今日的意義		244
シンポジウム「社会変動と価値観の変容」 〔研究例会報告〕		245
二十一世紀へ向けての中国の大学改革―「二一一工程」と中国の大学教育改革―	陳 敏	246～250
中国人の自然観―樹木と花と― 〔定年退職記念特別講演〕	若林 建志	251～253
生涯学習と若い時代の人間形成 研究所所報	倉内 史郎	253 254～261
○1999年（第34号）創立四十周年記念号 2000年3月発行		
アジア・アフリカ文化研究所創立四十周年を祝して	菅野 卓雄学長	1～3
アジア・アフリカ文化研究所創立四十周年を迎えての回顧と展望	吉田 辰雄所長	4～9
上座仏教におけるヴィパッサナー瞑想法の心理学的考察	恩田 彰	10～24
現代アジアにおける詩話研究の現状とその未来	船津 富彦	25～37
明治期における倫理の葛藤（四）―所謂「哲学館事件」をめぐる―	針生 清人	38～55
西南中国・シャム文化圏における非漢族の自律的政権 ―シブソンパンナー王国の改土帰流を事例に―	クリスチャン・ダニエルス	56～70
日治時期之祭祀公業	後藤 武秀	71～79
琉球の創造力（三）―原初的発想法を中心に―	比嘉 佑典	80～98
元明雜劇にみる道情の演劇表現について	有澤 晶子	99～112
中国五代十國時期墓誌・墓碑綜合目録稿	高橋 継男	113(横136)～135(横114)
漢字併用論争に見る韓国	小澤 康則	137(横112)～152(横97)
延方相撲の運営組織	宇佐美隆憲	153(横96)～168(横81)
モントリオールの韓人墓碑銘	松本 誠一	169(横80)～190(横59)
ムラを「存続させる」論理（Ⅱ）	芳賀 正明	191(横58)～210(横39)
日本における台湾原住民の人類学的研究（1895－1999）	末成 道男	211(横38)～232(横17)
マレーシア経済のミラクルからデイパークルへの足跡	米田 公丸	233(横16)～244(横5)
アジア・アフリカの接点で	倉内 史郎	245(横4)～248(横1)
創立四〇周年記念講演会 西南中国の歴史と民族 （特別講演）西南中国・シャム文化圏の歴史―少数民族の自律的政治権力を中心に―	クリスチャン・ダニエルス	249～271 249～250
『華陽国志』研究三十年の回顧	谷口 房男	250～253
孔明出盧の問題点	菊池 良輝	254～257
『華陽国志』中の非漢民族と民族官印	谷口 房男	258～267
玄奘三蔵の求法と入蜀について	北條 祐勝	268～271
アジア・アフリカ文化研究所研究年報総目次 〔調査研究活動〕		272～286
ミャンマー・スポーツの現状	宇佐美隆憲	287～303
李氏宗祀捐助会調査	後藤 武秀	304
アジア諸国における資本主義の形成・発展過程にかかわる特質の比較文化論的研究		

	阿部 照男	304～307
新羅・百濟時代の古墳及び遺物にみる特色と後世への影響に関する調査		
	谷口房男・飯塚勝重・小林隆夫	307～308
『華陽国志』訳注研究会		308
東南アジアにおける産業活動と教育との関係についての調査	西村 誠	308～309
琉球の創造力—原始的発想法に関する「ウタキ（御嶽）」調査—	比嘉 佑典	309
日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金助成		
「現代化と文化変容—アジア諸国に展開する国際的企業を中心に—」		310～326
作家・呂赫若事蹟調査	野間 信幸	310～311
沖縄国際センターにおける東南アジア地域の研修生受入れ状況調査	比嘉 佑典	311～312
台湾・台北及び近郊工業団地調査	米田 公丸	312～315
シンガポール、マレーシア調査	米田 公丸	315～317
中国における地方劇に関する調査	有澤 晶子	317～318
インド・マレーシア調査	比嘉佑典・大越公平・西野節男	318～322
台湾南部作家の活動舞台に関する調査	野間 信幸	322～324
中国武漢市、上海近郊における改革、開放によってもたらされた変化に関する実態調査	針生清人・野間信幸	324～326
〔研究例会報告〕		
シチリアのノルマン人とイフリーキーヤ	都甲 裕文	327～329
日本における台湾原住民の人類学的研究（一九八五—一九九九）	末成 道男	330
一九四六～四八年時期のカオダイ教	高津 茂	330～338
〔特別講演会報告〕		
シャマニズムと民族語の現況—シベリアのヤクーチアの場合—	勝木 英夫	338～341
研究所所報		342～350
あとがき	竹内 老子	351
○2000年（第35号） 2001年 3 月発行		
井上円了の進化論	針生 清人	1～15
琉球の創造力（四）—漂流物からみた沖縄文化論—	比嘉 佑典	16～34
『華陽国志』の諸本について	山内 四郎	35～62
齊如山と梅蘭芳の伝統の再生について	有澤 晶子	63～73
（研究ノート）中国の少数民族地域における言語教育政策と現状		
—雲南省と新疆ウイグル自治区を中心に—	王 亜新	75(横88)～85(横78)
壮・泰・老・傣族の同源与分化論	范 宏貴	86(横77)～92(横71)
モンリオールの韓人教会（Ⅰ）	松本 誠一	93(横70)～107(横56)
「ペーニャ」なくしてフィエスタなし！	芳賀 正明	108(横55)～139(横24)
マレーシアの製造業について	米田 公丸	140(横23)～154(横9)
最近の韓国の教育改革の動向—特に進路指導を中心にして—	吉田 辰雄	155(横8)～162(横1)
公開講演会「社会のゆらぎと心のよりどころ」（第一回）		163～182
心の拠所	量 義治	164～176
ネット社会における若者のよりどころ	比嘉 佑典	177～182
〔調査研究活動〕		
台湾原住民社会調査	末成 道男	183～190

現代台湾における祭祀公業について	後藤 武秀	190～191
「韓国社会文化の国際化に関する共同研究」に関する調査	松本誠一・小澤康則	191～192
「現代化と文化変容」に基づく沖縄調査（日本私立学校振興・共済事業団平成一一年度（第二四回） 学術研究振興資金助成）	針生清人・比嘉佑典	192～193
台湾先住民族「高砂族」居住地呼称に関する調査	大川 正彦	193～194
古代中国における漢中盆地の役割を探る	佐藤三千夫	195～196
中国の少数民族地域における「普通話」の普及政策と実施状況	王 亜新	196～199
『華陽国志』研究会		199
「社会変動と文化変動の社会人類学的研究—韓国社会の国際化に関する共同研究—」の調査	松本誠一・小澤康則	199～201
パトモス文書調査	都甲 裕文	201～202
琉球の想像力（４）—沖縄人の発想と石敢當に関する調査—	比嘉 佑典	202
〔公開講演会報告〕		
レバノン—多宗教社会における学校教育—	三尾 真琴	203～206
〔研究例会報告〕		
東南・東アジア諸国におけるゴミ処理の現状		
—中国・シンガポール・マレーシアの実態調査報告—	阿部 照男	207～209
ミャンマーに生きるスポーツ—オリンピック・カウンシル法で国民のスポーツ向上は可能か—	宇佐美隆憲	210～217
中国のチュアン族とタイ族（タイ国）、ラロン族（ラオス）の淵源について	范 宏貴	218
〔研究会合報告〕		
公開講演会「社会のゆらぎと心のよりどころ」（第一回）	針生 清人	219
〔研究例会報告〕		
中国の少数民族地域における「普通話」の普及政策と現状	王 亜新	219
韓国の国定「国史」教科書の内容について	小林 隆夫	220
研究所所報		221～227
あとがき	竹内 老子	228

○2001年（第36号） 2002年 3月発行

年譜から見た民俗学と民族学の草創期

—フレーザーの「神なる王」と折口信夫の「真床覆衾論」にことよせて—

	高橋 統一	1～29
井上円了の唯物論批判	針生 清人	31～37
琉球の創造力（五）—泡盛の創造と泡盛文化考—	比嘉 佑典	38～59
亜細亜義会機関紙『大東』に所収される二〇世紀初頭の日本におけるイスラーム関係情報—明治末 期の日本とイスラーム世界との関係を考察する基本史料の紹介—	三沢 伸生	60～75
中国伝統演劇教育における科班の成立とその展開	有澤 晶子	76～87
寛政の改革と芥子籬・籬道具—極小美の誕生—	是澤 博昭	88～104
1930年代中国の「半封建・半植民地」状態の変化と経済発展—毛沢東の「土地革命」への一考察—	河野 次郎	105(横70)～114(横61)
モンリオールの韓人教会（Ⅱ）	松本 誠一	116(横59)～124(横51)
賓貢料の成立と発展—東アジアの士人に開かれていた中国王朝仕官法の探求—		

高 明士 (高瀬奈津子訳)	125(横50)~138(横37)
中国西部大開発—垣間見た退耕還林政策の一側面—	飯塚 勝重 139(横36)~158(横17)
インドの電子産業と情報化について	米田 公丸 159(横16)~174(横1)
〔報告 シンポジウム「文化形成における酒の役割」(第37回白山祭参加企画)〕	175~194
酒の民俗	大島 建彦 176~182
酒の文化誌管蠡	新田 幸治 183~187
泡盛の歴史と文化—古酒づくり運動を通して—	島袋 正敏 188~191
泡盛の古酒づくり	謝花 良政 191~194
〔調査研究活動〕	
祭祀公業の解体に関する現地調査	後藤 武秀 195~196
社会変動と伝統文化の社会人類学的研究	宇佐美隆憲 196~197
中国古代民族官印調査	谷口 房男 197~198
『華陽国志』研究会	198
四川の歴史と民族を訪ねて 谷口房男・飯塚勝重・菊池良輝・北條祐勝・佐藤三千夫	199~201
長江流域都市の諸相	野間 信幸 201~204
英国議会資料の中央アジア・新疆関係記事の調査	真田 安 204
沖縄におけるマメ類の儀礼に関する比較研究	大越 公平 204~205
ベトナム村落の社会人類学的研究	末成 道男 205~215
〔研究例会報告〕	
韓国の若者の意識と進路選択について—進路指導の視点から—	吉田 辰雄 216~223
日米人形交流にみられる国民意識—関東州大連・朝鮮における在留邦人の動向を中心として—	是澤 博昭 223~224
年譜からみた民俗学と民族学の草創期—フレーザーの「神なる王」と折口信夫の「真床覆衾論」に ことよせて—	高橋 統一 225
『新語』の変遷にみる中国社会の動向	丹藤 佳紀 225~231
〔公開講演会報告〕	
「賓貢科」の成立と発展—東アジア知識人に開かれていた中国王朝への仕官法の探求—	高 明士 231
〔研究会合報告〕	
第37回白山祭参加企画—文化と祭り—	232~233
〔研究例会報告〕	
明治二三年におけるオスマン朝と日本との関係再考—日本側から見た「エルトゥールル号事件」—	三沢 伸生 234
〔退職記念講演会〕	
アジア諸国の繁栄と停滞をみつめて	米田 公丸 234
研究所所報	235~242

○2002年(第37号) 2003年3月発行

井上円了の唯物論批判 (二)	針生 清人 1~15
唐宋時代嶺南地域の州県に関する官印	谷口 房男 16~32
琉球の創造力(六)—命と宝と長寿文化の創造—	比嘉 佑典 33~49
青年毛沢東「贈父詩」について	横川 伸 50~57
中国伝統演劇における禁演についての一考察—一九五〇年の禁演を中心として—	

大川周明と日本のイスラーム研究 (特別寄稿) 河口慧海と哲学館	有澤 晶子 58～72 三沢 伸生 73～83 高山 龍三 84～89
スポーツにおける東南アジアの経済発展と都市化	宇佐美隆憲 91(横64)～102(横53)
中部ベトナムにおけるアム(庵)の素性	末成 道男 103(横52)～115(横40)
中国における緑化政策—退耕還林・還草工程を中心に—	飯塚 勝重 116(横39)～134(横21)
わが国の職業指導の成立と展開	吉田 辰雄 135(横20)～142(横13)
アジア諸国の繁栄と停滞をみつめて	米田 公丸 143(横12)～154(横1)
文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」に係わる「学術フロンティア推進拠点」による 共同研究「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容」	155～230
平成一四年度「学術フロンティア」プロジェクト	155～157
平成一四年度「私立大学学術研究高度化推進事業」学術フロンティア推進拠点 採択記念講演会 東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容	158～201
(基調講演) アジアを学ぶには (地域研究の課題)	金子 量重 159～177
I ベトナム	末成 道男 178
II マレーシア・シンガポール	井上 星児 179～180
III タイ・マレーシア	米田 公丸 180～183
IV マレーシア・タイ・シンガポール	福井 吉孝 183～185
V 韓国	松本 誠一 185～187
VI 台湾	後藤 武秀 187～188
VII インドネシア	西野 節男 189～190
VIII ミャンマー	宇佐美隆憲 191～192
[公開講演会報告] 東南アジアにおける狩猟民と国家—オラン・アスリ(マレーシア)の事例から—	永田 脩一 193～201
[調査研究活動] 台湾調査報告	後藤 武秀 202
「アジアの大都市における韓国系人口の存在形態」の資料調査および研究者訪問	松本 誠一 203～205
ミャンマー調査報告	宇佐美隆憲 205～207
バンコクの「アラブ人街」における予備調査	三沢 伸生 208～209
二〇〇二年夏訪越紀行	末成 道男 210～221
マレーシア、タイ現地調査	米田公丸・福井吉孝 221～225
インドネシア調査	西野 節男 225～227
雑報	228～230
人口・家族・地域社会の現況調査 —二五年前のアジア・アフリカ文化研究所共同調査地の変容状況の追跡調査—	松本 誠一 231～234
人口・家族・地域社会の現況調査 —二五年前のアジア・アフリカ文化研究所共同調査地の変容状況の追跡調査—	清水 浩昭 234～235

伝統芸能教育の中国における展開	有澤 晶子	235～236
「青年毛沢東と日本」による調査	横川 伸	236～237
西南中国（広西・雲南）の少数民族調査	谷口房男・飯塚勝重・菊池良輝・佐藤三千夫	238～240
『華陽国志』研究会		240
中世アルメニア史料調査	都甲 裕文	240～241
台湾と沖縄における伝承遊戯の比較研究	比嘉 佑典	241～242
幼児教育普及に伴う人形観の変容に関する資料収集	是澤 博昭	242～243
中国西部大開発と退耕還林・草政策について	飯塚 勝重	244
〔研究会合報告〕		
平成一四年度「私立大学学術研究高度化事業推進事業」に係る「学術フロンティア推進拠点」		
採択記念講演会		244
〔研究例会報告〕		
最近における世界の華人社会とチャイナタウン	山下 清海	245～246
〔公開講演会報告〕		
東南アジアにおける狩猟民と国家—オラン・アスリ（マレーシア）の事例から—		
	永田 脩一	246
研究所所報		247～255

○2003年（第38号） 2004年 2月発行

井上円了の唯物論批判（三）	針生 清人	1～14
王陽明の「博約説」について	吉田 公平	15～24
劉琳と『華陽国志』の校注本	谷口 房男	25～36
能海寛 求法の軌跡—東京修学時代の日記を中心に—	飯塚 勝重	37～46
現代における祭祀公業の新たな展開—財団法人台湾李氏宗祠の場合—	後藤 武秀	47～56
中国伝統演劇における演技表現の型の形成と展開	有澤 晶子	57～70
戦前・戦中期の満洲におけるイスラーム関係逐次刊行物		
—大久保幸次の収集したコレクションの紹介—	三沢 伸生	71～80
（研究ノート）韓国における近時の会社法改正について	井上 貴也	81～87
90年代のタイ—グローバリゼーションとタイ政治の変動—	高橋 正樹	89(横78)～98(横69)
ネパールにおける都市化と海外出稼ぎ—Globalizationと生活基盤の変容—		
	小林 正夫	99(横68)～106(横61)
中国・西部大開発戦略と我が国の政府開発援助に関する若干の考察		
—西部地域における人材開発ニーズを中心として—	宮川 朝一	107(横60)～118(横49)
アジアの海外直接投資と国際分業の新展開—電子産業の事例—		
	太田 辰幸	119(横48)～144(横23)
わが国の職業指導・進路指導の成立と展開（Ⅱ）	吉田 辰雄	145(横22)～158(横9)
アジア諸国に展開する日系製造業にみる文化変容	米田 公丸	159(横8)～166(横1)
文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」に係わる「学術フロンティア推進拠点」による		
共同研究「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容」		167～266
平成一五年度「学術フロンティア」プロジェクト		167
公開シンポジウム		
「アジア研究と多目的データベースの構築—IT時代の情報収集・加工・発信—」		168～191

アジア研究の拠点形成と ANSWER の役割	宇佐美隆憲	169～170
ANSWER の構成と特徴	三沢 伸生	170～171
データベースを用いた Web サイトの実用性と可能性	甲斐 資朗	171～173
言語・地理情報データベース構築の未来図	渡辺 満久	173～176
アジア系言語処理の未来図—ベトナムを事例に—	田原 洋樹	176～184
総合商社の事業展開からみたアジア・データベース	瀬名 敏夫	184～188
情報検索から見た多目的アジアデータベースの評価と課題	佐藤 章	189～191
〔調査研究活動〕		
台湾滞在研究調査中間報告	後藤 武秀	192～196
韓国滞在研究調査中間報告	松本 誠一	196～202
インドネシアにおける研究対象地域選定のための予備調査	西野 節男	202～203
マレーシア・シンガポールにおける都市政策および環境倫理問題の予備調査		
	井上 星児	204
ミャンマー（ビルマ）調査と翻訳に関わる作業	宇佐美隆憲	204～206
シンガポール・バンコク調査	福井 吉孝	206～207
台湾、シンガポール、タイの現地調査と打ち合わせ	後藤 武秀	207～208
シンガポールにおける都市内イスラーム共同体実態調査	三沢 伸生	209～210
大韓民国調査	宇佐美隆憲	210～211
ミャンマー調査（平成一六年度本調査の為の事前準備）	宇佐美隆憲	211～213
タイ（主としてバンコク）における都市内イスラーム共同体の実態調査	三沢 伸生	213～214
ベトナムの社会人類学研究—ベトナム班調査日誌—	末成 道男	214～222
韓国訪問調査報告	後藤武秀・井上貴也	223～225
韓国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容に関する調査	米田 公丸	225～229
韓国の社会人類学的研究	末成 道男	229～236
マレーシア・タイ調査	米田 公丸	236～238
共同研究プロジェクトに基づくインドネシア（ジャワ）における教育・宗教にかかわる調査		
	西野 節男	238～239
共同研究プロジェクトに基づくマレーシアの候補都市の訪問および研究協力依頼		
	井上 星児	239～240
韓国に見る経済発展と都市化による伝統文化の変容に関する法制度調査	佐藤 俊一	240～241
韓国日系企業調査と河川（淡水魚、釣り、景観）調査	福井 吉孝	241～243
共同研究プロジェクトに基づく韓国における社会変動と教育改革に関する資料収集および聞き取り	西野 節男	243～244
韓国の経済発展の基盤をなす人材開発についての調査・研究	吉田 辰雄	244
韓国の中央・地方都市における対日関係意識の偏差に関する調査	井上 星児	245
台湾における日系企業および河川調査	福井 吉孝	245～246
台湾調査報告	松本 誠一	247～248
台北・台南での調査と資料収集	野間 信幸	249～250
学術フロンティアプロジェクト研究遂行のためのタイ調査—河川を中心とした調査および資料収集—		
	福井 吉孝	250～251
台湾（主として台北）における都市内イスラーム共同体の実態調査	三沢 伸生	251～252
台湾調査日誌	末成 道男	253～258
台湾のスポーツ教育調査	宇佐美隆憲	258～259

台湾における地方議会選挙制度調査	佐藤 俊一	259～260
台湾における日系製造業の文化変容について	米田 公丸	260～263
雑報		264～266
〔報告 日中シンポジウム「中国西部大開発の現状と挑戦」〕		267～289
中国西部大開発の総合計画と課題	顧 林生	267～270
新疆オアシス地域の農業開発の現状と課題	楊 徳剛	270～272
中国の生態系の地理区分と北方の黄砂気候への対策	呉 紹洪	273～275
科学教育による村興し計画と西部地域の農村開発	韓 忠超	275～277
長江経済開発地帯と西部大開発	余 之祥	278～280
広西の少数民族と西部大開発	谷口 房男	280～286
退耕還林と黄河流域の乾燥について	飯塚 勝重	287～289
〔調査研究活動〕		
明治期における日本とオスマン朝との関係史の調査	三沢 伸生	290～292
最近の韓国の教育改革及び進路指導の動向調査	吉田 辰雄	292
武漢市とその近郊農村・近郊都市との物流の変容過程についての調査	河野 次郎	292～294
沖縄におけるマメ類の儀礼に関する比較研究	大越 公平	294～297
『華陽国志』研究会		297～298
アジア地域から派遣される研修生の動向調査—沖縄国際センターを中心に—	比嘉 佑典	298～299
アジア文化研究所プロジェクト研究「東アジア・東南アジアにおける異文化接触と文化変容」	後藤 明	299～305
七五周年を記念してマンダレーでおこなわれるチンロンの大会ならびにイベントの参与観衆	宇佐美隆憲	300～303
イギリス・フランスに保存される前近代における日本へのイスラーム文明の伝播に関する調査	三沢 伸生	303～304
日本における南蛮文化の資料収集	駒井 義昭	305
アジア文化研究所プロジェクト研究「中国西部大開発研究」	阿部 照男	305～306
〔研究例会報告〕		
現代タイの政治と経済の現状	高橋 正樹	307
ネパールにおける都市化と海外出稼ぎ— Globalization と生活基盤の変容—	小林 正夫	307
日韓歴史教育交流の課題と展望	石渡 延男	308～317
〔公開講演会報告〕		
中国西部大開発と広西少数民族の発展	袁 少芬	318～328
〔研究会合報告〕		
平成一五年度学術フロンティア公開シンポジウム		
「アジア研究と多目的データベースの構築— IT 時代の情報収集・加工・発信—」		329
〔公開講演会〕		
中国西部大開発戦略の検証及び今後の課題	顧 林生	329
〔研究会合報告〕		
日中シンポジウム「中国西部大開発の現状と挑戦」		329
研究所所報		330～337

○2004年（第39号） 2005年2月発行

井上円了の「妖怪学」	針生 清人	1～6
春日潜庵の晩年—村上作夫『東遊日記』の世界—	吉田 公平	7～16
档案抄本にみる清宮廷演劇の朔望承応	有澤 晶子	17～28
タイの地方自治制度改革—状況と問題点—	佐藤 俊一	29～39
中国广西汉唐考古的新发现—附汉唐官印的发现—	蔣 廷瑜	40(横93)～49(横84)
「会津・南蛮屏風」の謎	駒井 義昭	50(横83)～60(横73)
キャーティブ・チェレビーとスーフイズム—『真理の秤』の記述を通して—	三沢 伸生	61(横72)～72(横61)
On the Progress of Protected Areas System in Mongolia during and post Socialistic Regime	USUKI Mitsuo	73(横60)～82(横51)
解放後のカオダイ教	高津 茂	83(横50)～101(横32)
縄文丸木舟覚え書—房総の諸事例から—	高橋 統一	102(横31)～132(横1)
文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」に係わる「学術フロンティア推進拠点」による共同研究「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容—大都市・地方都市・農村の比較—」		133～185
平成一六年度「学術フロンティア」プロジェクト〔調査研究活動〕		133～134
ミャンマー長期滞在研究調査中間報告	宇佐美隆憲	135～144
シンガポール・マレーシア滞在研究調査 中間報告	井上 星児	145～151
タイに展開する日系製造業における技術移転・普及と文化変容に関する調査	米田 公丸	152～154
韓国にみる経済発展と都市化による伝統文化の受容	大畑 裕嗣	155～157
台湾における教育改革調査および教育改革関係資料収集	西野 節男	157～159
台湾における教育の地域格差に関する調査	比嘉 佑典	159～160
東アジア・東南アジアにおける都市内イスラーム共同体の調査	三沢 伸生	161～163
台湾調査	宇佐美隆憲・三沢伸生・井上貴也	164～165
ベトナム・キン族のレンドンとミャンマー・ビルマ族のナッカドー（巫女）儀礼調査	末成 道男	165～168
台湾会社法調査	後藤武秀・井上貴也	169～170
司法制度調査	後藤武秀・井上貴也	171～174
タイ・チャオプラヤ川、ピン川周辺環境調査	福井 吉孝	174～176
タイの地方自治調査および農村の変容と農民運動に関する調査	佐藤俊一・高橋正樹	176～178
台湾調査報告	後藤 武秀	178～180
日系企業における技術移転および文化変容に関する調査	比嘉 佑典	180～181
ミャンマー・タイの韓人社会調査	松本 誠一	181～184
マレーシア・インドネシアにおけるイスラーム教育および高等教育関係調査	西野 節男	184～185
〔アジア文化研究所・研究所内プロジェクト二〇〇四年度研究調査報告 「中国『西部大開発』と地域社会の変容」〕		187～255
中国西部大開発プロジェクト—西安・延安調査報告—	横川伸・郝仁平・針生清人・阿部照男・宮川朝一	187～212
広西壮族自治区の農村問題と退耕還林	谷口房男・飯塚勝重	213～234

中国西部大開発の計画と持続可能な発展への挑戦	顧 林生	235～248
生態花苑・農家楽 重慶に見る西部大開発最前線—北京・重慶調査報告—	阿部照男・針生清人・谷口房男・飯塚勝重	249～255
〔調査研究活動〕		
近代化と文化変容—アジア諸国に展開する国際的企業を中心に—	比嘉 佑典	257
中国民族官印調査	谷口 房男	257～258
中国と周辺民族の交流と変遷—能海寛の文献について—	飯塚 勝重	258
中国「西部大開発」と地域社会の変容	阿部照男・針生清人・谷口房男・飯塚勝重	258～259
東アジア・東南アジアにおける異文化接触と文化変容	西野 節男	259～262
中国「西部大開発」と地域社会の変容	谷口房男・飯塚勝重	262
中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究	比嘉佑典・針生清人・太田辰幸・鈴木哲郎・井上貴也	262～267
明治時代における外来文化の受容形態の調査・資料収集	駒井 義昭	267～268
〔退任記念講演会〕		
玉壺冰心の願い	新田 幸治	269～270
「大唐西域記」並に「慈恩伝」についての疑問—近年の仮説から—	北條 祐勝	270～274
〔研究例会報告〕		
台湾の政治文化—総統選の顛末—	後藤 武秀	275～277
〔公開講演会報告〕		
広西における漢・唐代の新たな考古学的発見について	蔣 廷瑜	278
〔研究例会報告〕		
縄文丸木舟覚え書—房総の諸事例から—	高橋 統一	278
〔研究会合報告〕		
平成一六年度学術フロンティア国際シンポジウム		
「アジアにおける経済発展と都市化にみる伝統文化の変容—韓国・台湾・ベトナムを中心に—」		278
研究所所報		279～286
○2005年（第40号） 2006年 2 月発行		
鈴木無隠遺文	吉田 公平	1～8
昭和前期の宗教人類学と調査研究機関—久野芳隆の場合—	大澤 広嗣	9～24
インドネシアの地方制度と分権化	佐藤 俊一	25～35
唐〈楊漢公墓誌〉考釈（上）	高橋継男・玉野卓也・竹内洋介	36～49
「縄文丸木舟覚え書—房総の諸事例から—」補遺	高橋 統一	50(横27)～52(横25)
中国における緑化政策—退耕還林・還草工程を中心に（その2）—	飯塚 勝重	53(横24)～60(横17)
南北韓国（朝鮮）語における異質感克服の問題について	金 東光	61(横16)～70(横7)
韓国の「総合型」市民運動—「新しい社会運動」と「NGO」のあいだ—	大畑 裕嗣	71(横6)～76(横1)
〔文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」に係わる「学術フロンティア推進拠点」による 共同研究「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容—大都市・ 地方都市・農村の比較—」〕		
		77～146
平成一七年度「学術フロンティア」プロジェクト		77～81

〔調査研究活動〕

インドネシア長期滞在研究調査中間報告	西野 節男	82～104
ベトナムの社会変容と文化変容についての社会人類学的な調査	末成 道男	105～107
マレーシアにおける都市・地方の多民族間相互理解の進展状況調査、およびシンガポールに おける「日本軍占領期」の戦後六〇年史総括に関する調査	井上 星児	108～110
タイに展開する日系製造業における技術転移・普及と文化変容に関する調査	米田 公丸	111～112
資料収集—韓国—	松本 誠一	113～114
ベトナムおよびタイに関する人類学的調査	末成 道男	115～116
ミャンマーにおける身体文化の変容に関わる現地調査	石井 昌幸	116～117
インドネシアおよびミャンマー調査	西野 節男	118～122
タイの日系製造業による技術移転・普及と文化変容に関する調査	米田 公丸	122～123
河川調査	福井 吉孝	124～125
教育・経営管理及び人材育成の変容に関する調査	比嘉佑典・大城美樹雄	125～126
タイにおける都市内イスラーム共同体の調査	三沢 伸生	126～129
司法事情調査	後藤 武秀	129～130
台湾における法学関係資料調査	後藤 武秀	130～131
インドネシアの華人街を中心にした人類学的サーヴェイ	末成 道男	132～133
タイにおける現地調査	福井 吉孝	133～134
インドネシア韓人社会調査	松本 誠一	134～136
国際セミナー「改革・地方自治・国民統合—日本の経験を振り返って—」およびインドネシア・中 部ジャワ地域における現地調査報告	比嘉佑典・大越公平・竹内老子・針生清人・佐藤俊一・高橋正樹・井上星児	137～141
インドネシア訪問先のカレンダーにみる生活文化事象	大越 公平	141～143
中部ジャワ地域の教育政策・実践状況等の比較観察調査	井上 星児	143
日本・タイ関係を中心とする国際関係に関する調査	佐藤俊一・高橋正樹	144～145
日・台比較教育調査	比嘉 佑典	146
〔アジア文化研究所・研究所プロジェクト二〇〇三～五年度研究調査報告「東アジア・東南アジア における異文化接触と文化変容」〕		147～190
東アジア・東南アジアにおける異文化接触と文化変容	後藤 明（研究代表）	147～154
“State-Public Relations” in the Ottoman Empire according to some official documents Göknur, GÖĞEBAKAN		155(横36)～165(横26)
The Comparative Study about the Traditional Islamic School : (1) Social Life in the Ottoman Medrese	Setsuo NISHINO , Dr. Ahmet CİHAN	166(横25)～178(横13)
南蛮屏風に描かれたイスラーム世界—ヨーロッパ文明を媒介として日本に流入したイスラーム文明 像—	駒井義昭・三沢伸生	179(横12)～188(横3)
〈研究ノート〉近代スポーツとの接触による伝統スポーツ「チンロン」の変容	宇佐美隆憲	189(横2)～190(横1)
〔アジア文化研究所・研究所プロジェクト二〇〇五年度研究調査報告「中国『西部大開発』と地域 社会の変容」〕		191～254
中国「西部大開発」と地域社会の変容	谷口 房男（研究代表）	191～192
中国西部大開発プロジェクト—西安・延安・徳保調査報告—	谷口 房男	193～218
中国西部大開発研究「合宿研究会」報告	谷口 房男	219～221

東洋大学アジア文化研究所「西部大開発」プロジェクト調査チームとの懇談会における志丹県の基調報告	中国共産党志丹県委員会・志丹県人民政府	222～228
日中国際シンポジウム（二〇〇五・一二・六）「中国西部大開発の現状と挑戦 パートⅡ」	谷口 房男	229～232
中国の西部大開発に関する政策的評価と国家の地域政策の行方 —開発時代からマネジメント時代への転換—	顧 林生	233～242
从陕西的基本经验看“山川秀美”工程的技术和管理创新与可持续发展机制	韦 苇	243(横12)～254(横1)
〔アジア文化研究所・研究所内プロジェクト二〇〇五年度研究調査・共同研究発表報告 「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」〕	比嘉 佑典（研究代表）	255～330
合弁企業への道	針生 清人	255～258
華中地域における日中合弁企業の経営と従業員の意識変化—アンケート調査の結果分析—	太田 辰幸	259～269
中日合弁企業における若者の人材流出・流動の現状に関する調査と分析	王 秋華	270～278
中国の日系企業における日本人の異文化適応に関する一考察	陳俊森・陳朝陽	279～288
日中商談摩擦における文化的背景について	王 淨華	289～296
企業における商談・合意、文化摩擦の処理に関する法的問題	井上 貴也	297～304
日中合弁会社従業員の健康度	鈴木 哲郎	305～311
華中地域における日系企業での従業員のモチベーション・メカニズムに関する一考察	李思純・張道宝	312～321
中国における人材開発と教育	比嘉 佑典	322～330
〔調査研究活動〕 研究所プロジェクト「東アジア・東南アジアにおける異文化接触と文化変容」	三沢 伸生	331～332
研究所プロジェクト「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」	井上 貴也	332～333
研究所プロジェクト「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」	比嘉 佑典	333～334
研究所プロジェクト「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」	鈴木 哲郎	334
研究所プロジェクト「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」	太田 辰幸	334～335
〔調査研究活動〕 研究所プロジェクト「中国『西部大開発』と地域社会の変容」	阿部照男・横川伸・郝仁平	335
研究所プロジェクト「中国『西部大開発』と地域社会の変容」	谷口房男・飯塚勝重	335
研究所プロジェクト「ベトナムにおける都市内イスラーム共同体の調査」	後藤 明	336～337
研究所間プロジェクト「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」	三沢伸生・赤堀雅幸	337～338
〔退任記念講演会〕 私のアジア研究—今後の課題と方法—	太田 辰幸	339～341

進路指導研究の課題—進路指導からキャリア教育へ— 〔研究例会報告〕	吉田 辰雄	341～343
ミャンマーにおける伝統スポーツの伝承形態—チンロンの場合を例にして—	宇佐美隆憲	344
中国の「反日」運動をどう見るか 〔研究例会・学術フロンティア公開講演会報告〕	丹藤 佳紀	344～346
漁業共同体の日韓比較 〔研究例会報告〕	朴 光淳	346～348
巴金（中国人作家）の離郷について—追悼を兼ねて—	野間 信幸	348～349
現代的ワクフの挑戦—ハムダルド財団（パキスタン）の事例から— 研究所所報	子島 進	349～350 352～360

○2006年（第41号） 2007年2月発行

唐 < 楊漢公墓誌 > 考釈（下）	高橋継男・玉野卓也・竹内洋介	1～28
進路指導・キャリア教育における職業体験学習・インターンシップの研究	吉田 辰雄	29(横64)～38(横55)
統計に見る在日コリアンと日韓・日朝ダブルの現状—出生・死亡、「帰化」による人口動態—	井出 弘毅	39(横54)～47(横46)
韓国の大学教育改革の方向性問題について	金 東光	48(横45)～58(横35)
カオダイ教の日本への夢想 1934-1941	高津 茂	59(横34)～77(横16)
Economic Growth, Trade Policy and Changing Direction of Trade in East Asia	Ota Tatsuyuki	78(横15)～92(横1)
〔平成一八年度「学術フロンティア」プロジェクト 研究課題「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容—大都市・ 地方都市・農村の比較—〕		93～159
平成一八年度「学術フロンティア」プロジェクト 〔調査研究活動〕		93～100
ベトナム長期滞在研究調査報告	末成 道男	101～105
インドネシアにおける経済発展・都市化と教育改革の現状調査	西野 節男	105～113
タイにおける日系製造業による技術・技術革新を触媒とする文化変容に関する調査	米田 公丸	114～117
インドネシア・ベトナムに展開する日系製造業における技術移転・普及と文化変容に関する調査	米田 公丸	118～121
タイの水辺調査報告	福井 吉孝	121～123
マレーシアに展開するモータリゼーションと情報化に関する調査	米田 公丸	123～125
ベトナムの法務事情調査	後藤武秀・佐藤俊一	125～126
ベトナムスポーツ関連施設実態調査	宇佐美隆憲	126～128
ベトナムの韓人社会	松本 誠一	128～130
ベトナムの教育・伝統文化および経済発展の動向に関する調査	比嘉 佑典	130～132
ベトナムのカレンダーにみる伝統文化の変容に関する調査	大越 公平	132～137
中部ジャワ州における伝統スポーツの伝承に関する調査	宇佐美隆憲	138～139
国際シンポジウム開催準備作業	井上 星児	139～141
新潟国際情報大学におけるシンポジウム打ち合わせ	比嘉佑典・後藤武秀・佐藤俊一	141

国際シンポジウム開催準備作業	後藤武秀・竹内老子	141～142
台湾における法事情調査	後藤 武秀	142～144
アジア地域研究センター・新潟国際情報大学共催シンポジウム「いま、アジアで—国家を越えた交流を深める東アジア—」参加	比嘉佑典・後藤武秀・佐藤俊一	144
シンポジウム開催打ち合わせ及び中部ジャワ地震の状況調査	西野 節男	144～145
タイ国内の河川・運河調査	福井 吉孝	145～147
国際シンポジウム「文化変容の中のシステム改革—法とライフデザイン—」開催および関連調査	後藤武秀・小林秀年・鈴木哲郎・宇佐美隆憲・竹内老子	148～150
台湾における法律関係調査	後藤武秀・小林秀年	150～152
インドネシアの都市と地方における教育改革の現状調査及びイスラーム教育改革に関する調査	西野 節男	152～159
〔アジア文化研究所・現代社会総合研究所研究所間プロジェクト二〇〇五～六年度研究調査報告書「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」〕		161～202
「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」	後藤 武秀（研究代表）	161～163
トルコにおけるイスラーム伝統的秩序規範の関係文献調査	東長 靖	164
シンガポール・タイにおける法規範と宗教規範の関係調査	斎藤 洋	165～166
イスラーム世界における伝統的規範の持続と変容	斎藤 洋	167
『叡智の台座』註釈と『台座の刻印』	東長 靖	168(横35)～179(横24)
戦間期のイスタンブールにおける日本の経済活動（1）—コンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブール日本商品館）に関する研究—	三沢 伸生	180(横23)～199(横4)
台湾におけるイスラーム	後藤 武秀	200(横3)～202(横1)
〔二〇〇六年度中国「移民新村」研究班プロジェクト研究調査報告「中国内陸部における貧困対策に関する研究—「移民新村」政策を中心にして—」〕	阿部 照男（研究代表）	203～277
中国内陸部における貧困対策に関する研究—「移民新村」政策を中心にして—	阿部 照男	203～206
第一部 調査記録（平成一八年度予備調査）	飯塚 勝重	206～230
陝西省扶貧開発の基本状況について（報告）—移民扶貧を中心に	謝 浩民	227～230
第二部 調査総括		231～250
一 当面の「移民新村」政策の評価を巡って	阿部 照男	231～233
二 「移民新村」政策の諸問題—予備調査と視察の概報—	針生 清人	233～237
三 貧困対策としての「移民新村」政策の背景	郝 仁平	237～238
四 社会主義新農村建設と中国の「一村一品運動」	横川 伸	239～245
五 変容する退耕還林・草—「移民新村」を巡って—	飯塚 勝重	246～247
六 陝西省北部の砂漠緑化	羅 歆鎮	247～250
第三部 西北大学委託調査		251
第四部 平成18年度中国陝北地区移民新村政策研究調査日程		252
第五部 資料紹介		253～276
1 陝西省人民政府「陝西省の農村での貧困援助開発計画書（2001～2010年）」	成 慶生（訳）	253～261
2 陝西省貧困扶助開発指導グループ（小組）弁公室「移民貧困扶助他郷開発事業の強化に関する通達」	橋本 和子（訳）	261～265
3 延川県人民政府「陝西省延川県の貧困扶助開発事業についての紹介」	橋本 和子（訳）	265～269

4 子長県人民政府「移民転居事業に関する総括報告」	高木 晶子 (訳)	270～272
5 靖辺県貧困扶助弁公室「靖辺県の移民貧困扶助開発に関する報告」	橋本 和子 (訳)	273～275
〔調査研究活動〕		
研究所プロジェクト「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」	比嘉 佑典	278～279
台湾における戦前期イスラーム関係文献調査	三沢 伸生	279～280
研究所プロジェクト「東アジア・東南アジアにおける異文化接触と文化変容」	駒井 義昭	280～282
研究所間プロジェクト「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」	東長 靖	282
研究所プロジェクト「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」	比嘉 佑典	282～283
平成一八年度研究所プロジェクト「中国華中地域の日中合弁企業における文化摩擦と文化的背景に関する研究」	比嘉 佑典	283
〔研究例会報告〕		
植民地台湾の民俗文化をめぐる文化人類学的研究	植野 弘子	284～287
〔研究会合報告〕		
国際シンポジウム「グローバリズムおよびナショナリズムの両圧力下におけるアジアの伝統文化と価値観の変容—アジア地域研究センター五年間の活動を通して—」	竹内 老子	288～291
〔研究例会報告〕		
海外出稼ぎと中産階級の増加—ネパール・カトマンズの暮らし—	小林 正夫	292～293
〔研究会合報告〕		
東洋大学・インドネシア国立ディポネゴロ大学 (UNDIP) 学術交流講演会 「変化するインドネシア社会—歴史・労働・宗教の観点から—」	竹内 老子	293～296
研究所所報		297～309

○2007年 (第42号) 2008年2月発行

広西チワン族の師公教に関する印章	谷口房男・廖国一	1～18
日本軍政下のマラヤにおける宗教調査—渡辺棟雄について—	大澤 広嗣	19～36
アジア地域の再生と文化産業の展開		
—ソーシャルエコノミーにおけるコミュニティ・ビジネスを中心に—	比嘉 佑典	37～53
台湾における名前の日本化—日本統治下の「改姓名」と「内地式命名」—	植野 弘子	55(横108)～66(横97)
中国における緑化政策—退耕還林・還草工程を中心に (その3) —	飯塚 勝重	67(横96)～76(横87)
北東アジア国際観光圏の構想—渤海文化資源の共同開発を一例として—	廖 国一	77(横86)～85(横78)
リン・ラン (Linh Lang 霊郎) に関する神跡の分布について	高津 茂	86(横77)～102(横61)
EU における中国系第二世代のアイデンティティ—イギリスとフランスの比較から—	山本須美子	103(横60)～120(横43)
日本語と日本文化との接点—日本語教育の立場から—	陳 俊森	121(横42)～132(横31)
日本に投下された49個の模擬原爆	菊池 良輝	133(横30)～145(横18)
永野芳夫のデュイー研究と澤柳政太郎の成城小学校教育実践との関連性 (上)		

—「経験哲学」にもとづく「新しい教育の諸事実」の「基礎づけ」に焦点をあてて—		
	米澤 正雄	146(横17)～162(横1)
〔平成一九年度「学術フロンティア」プロジェクト研究課題「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容」〕	比嘉 佑典 (研究代表)	163～207
平成一九年度「学術フロンティア」プロジェクト		163～167
〔国内出張報告〕		
学術フロンティアの五年間の研究活動終了の報告と研究協力依頼 (一)	後藤 武秀	168
学術フロンティアの五年間の研究活動終了の報告と研究協力依頼 (二)	比嘉佑典・後藤武秀	169
学術フロンティアの五年間の研究活動終了の報告と研究協力依頼 (三)	後藤 武秀	170
〔短期調査報告〕		
中国における地方選挙の調査及び台湾における講演	佐藤 俊一	172～173
国際シンポジウム準備作業及び東南アジア法研究動向調査	後藤 武秀	173～174
国際シンポジウム準備作業及びインドネシア・イスラーム教育施設調査	西野 節男	174～175
〔報告〕		
中華大学行政管理学系、第三回「地方政府與公共管理」学術研究会参加報告	後藤武秀・佐藤俊一	176
〔学術研究会参加報告〕		
日本世紀末分権改革後の「三位一體」改革	佐藤 俊一	177～182
分権改革後日本の市町村合併和地方税財政改革問題—以關東地方為例—	後藤 武秀	182～185
〔研究ノート〕		
台湾の経済発展と観光文化産業を通じた伝統文化の維持—文化創造産業・生活創造産業の例から—	後藤 武秀	186～195
〔調査報告〕		
沖縄の復帰後における経済発展と文化変容—オリオンビールの企業文化を中心として—	大城美樹雄	196～207
〔アジア文化研究所・現代社会総合研究所研究所間プロジェクト二〇〇六～〇七年度研究調査報告書「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」〕		209～290
「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」	後藤 武秀 (研究代表)	209～213
モルディブにおけるイスラームの伝統的秩序規範の変容調査	子島 進	214～219
アモイ大学および福州大学におけるイスラーム系少数民族政策の調査と研究	後藤 武秀	220
カイロ市におけるイスラームの伝統価値規範のフィールド調査	赤堀 雅幸	221～222
The Transformation of Saintliness in the Process of Succession: Saints and Their Descendants in the Western Desert of Egypt	Akahori Masayuki	224(横67)～231(横60)
Armenians in the Course of the Russo-Japan War in 1904-1905 and Muslims of Russia after the 1905 Russian Revolution	Seyit Sertçelik	232(横59)～240(横51)
The Presidency of Religious Affairs and the Republic of Turkey	Ramazan YILDIRIM, Ahmet CİHAN	241(横50)～257(横34)
戦間期のイスタンブールにおける日本の経済活動(2)—コンスタンチノーブル日本商品館(イスタンブール日本商品館)に関する研究—	三沢 伸生	258(横33)～290(横1)
〔平成一九年度東洋大学中国扶貧「移民新村」政策研究班「中国内陸部における貧困対策に関する研究—「移民新村」政策を中心にして(2)—〕		

	阿部 照男（研究代表）	291(横78)～368(横1)
第七部 平成19年度研究活動		291(横78)～292(横77)
第六部 収集資料		293(横76)～299(横70)
第五部「扶貧移民」政策研究（論文）瓜州の移民進捗状況に関する考察と思考		
	包 曉霞（高木晶子訳）	300(横69)～307(横62)
第四部 平成19年度中国陝北・甘肅省地区移民新村研究調査日記		308(横61)
第三部 西北大学委託調査		309(横60)
第二部 調査総括		
5「七筆勾」と新農村—延安調査散文—	葉 道猛（高木晶子訳）	310(横59)～311(横58)
4 変容する退耕還林・還草政策—「新農村」政策を巡って—		
	飯塚 勝重	312(横57)～313(横56)
3 調査データから見た「移民新村」政策の効果—延安市宜川県高柏郷移民新村の場合—		
	郝 仁平	314(横55)～319(横50)
2「移民新村」政策の諸問題—07年調査と視察の概報—	針生 清人	320(横49)～327(横42)
1「移民新村」政策の多様性と変容—2007年現地調査を終えて—		
	阿部 照男	328(横41)～331(横38)
第一部 調査記録（平成19年度調査）	飯塚 勝重	332(横37)～365(横4)
中国内陸部貧困対策の研究について—今年度研究調査の概要—		
	阿部 照男	366(横3)～367(横2)
〔アジア文化研究所研究所プロジェクト「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の試みとして—」〕	松本 誠一（研究代表）	369～382
ON THE IDENTITY PROBLEM OF KOREAN RESIDENTS IN JAPAN		
	Dong Kwang KIM	374(横9)～382(横1)
調査・研究活動		383～384
〔研究集会報告〕		
宗教の制度化と権威—マレーシアの境域社会におけるイスラーム化のダイナミクス—		
	長津 一史	384～385
中国における緑化政策—退耕還林・還草工程を中心に／八年後の憂いは解けるのか—		
	飯塚 勝重	385～386
〔研究例会報告〕		
文化変容の研究とカレンダー文化研究との接点を探る	大越 公平	386～388
韓国の気功に見る身体観とナショナリズム—「国仙道」が語る自らの来歴と修練道教—		
	木内 明	388
日本語と日本文化の接点	陳 俊森	389
中国人の発想と日本人の発想—中日合弁企業文化の調査から—	王 秋華	389～396
〔研究会合報告〕		
学術フロンティア国際シンポジウム「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による文化変容—伝統文化と民族のアイデンティティ—」		397
研究所プロジェクト「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ」		397
研究所間プロジェクト・シンポジウム「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」		398
研究所所報		399～410

○2008年（第43号） 2009年2月発行

茅盾による中国神話類型	有澤 晶子	1～12
ビルマ占領と仏教対策—東洋大学出身者の動向を中心として—	大澤 広嗣	13～28
中国における緑化政策—退耕還林補助政策と後続産業（1）—	飯塚 勝重	29(横136)～42(横123)
環北部湾地区ヤオ族生産様式の変化と社会文化の変遷を探索—広西チワン族自治区上思県南屏ヤオ族郷米強村の百管屯を一例として—	廖 国一	43(横122)～56(横109)
ヴェトナム河東省常信府上福縣平陵總向陽社黎舎村・皮舎村・向舎村の神跡について	高津 茂	57(横108)～72(横93)
—ヴェトナム民間信仰の一考察—	駒井 義昭	73(横92)～83(横82)
日本の大工道具とオランダ人	奥山 直司	84(横81)～100(横65)
明治インド留学生たちが見た「比叻」と「金剛」の航海	三沢 伸生	101(横64)～120(横45)
戦間期のイスタンブールにおける日本の経済活動（3）—コンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブール日本商品館）に関する研究—	米澤 正雄	121(横44)～132(横33)
永野芳夫のデュイ研究と澤柳政太郎の成城小学校教育実践との関連性（下）—「経験哲学」にもとづく「新しい教育の諸事実」の「基礎づけ」に焦点をあてて—	菊池 良輝	133(横32)～144(横21)
PUMPKIN（模擬原爆）の投下を当時の日本の報道機関はどう報じたか—第一編—	宮下 良子	145(横20)～153(横12)
ある劇作家の挑戦—大分市つかこうへい劇団の軌跡—	続 三義	154(横11)～164(横1)
いわゆる「ニュータイプの外来語」に関して		
〔平成二〇年度「学術フロンティア」プロジェクト研究課題「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容—大都市・地方都市・農村の比較—」〕		165～236
平成二〇年度「学術フロンティア」プロジェクト		165～176
〔海外短期調査報告〕		
台湾における法文化調査および台湾法制史翻訳の訳文点検	後藤 武秀	176
国際セミナー開催、学術協力に関する打ち合わせおよび調査	西野節男・服部美奈	176～177
台湾における慣習法調査および翻訳打ち合わせ	後藤 武秀	177～178
ベトナム・フエでの鈴長空手調査およびシンポジウム準備・打ち合わせ	石井 隆憲	179～180
バンコク市およびビエンチャン市におけるイスラーム共同体調査	三沢 伸生	180～184
国際セミナー開催打ち合わせおよび、外国人学校・国際学校比較研究に関する調査	西野節男・服部美奈	184～194
タイ・ラオスの河川及び河川の有効利用に関する調査	福井 吉孝	194～196
〔国内出張報告〕		
シンポジウム開催（沖縄）の打ち合わせ及び研究成果物出版に関わる打ち合わせ	比嘉 佑典	197
シンポジウム開催に関わる準備打ち合わせ及び会場等視察	比嘉佑典・後藤武秀・竹内老子	197～198
〔海外短期調査報告〕		
共同研究、国際セミナー開催打ち合わせ、及びイスラーム教育調査	西野 節男	199～204
韓国における近年の離婚状況の調査	後藤 武秀	204～205
ラオス及びタイ国内の河川・河川構造物の現地調査	福井 吉孝	205～208
経済発展に伴うカトマンズ市・周辺の社会変容に関する調査	小林 正夫	208～210
日本・ベトナム国際シンポジウム、日本・カンボジア国際シンポジウムへの参加		

	比嘉佑典・石井隆憲	211～213
日本・カンボジア国際シンポジウム参加、来年度インドネシアで開催予定のシンポジウム打ち合わせ、イスラーム教育調査	西野 節男	213～216
日本・ベトナム国際シンポジウム開催準備および報告書作成作業	新江 利彦	216～218
日本・ベトナム国際シンポジウム開催に関わる準備及び参加	末成 道男	219～220
カンボジアで開催する日本・カンボジア国際シンポジウムに参加及びタイでの打ち合わせ	後藤 武秀	220～222
〔国内出張報告〕		
アジア地域研究センター主催シンポジウム「地域再生時代における固有文化の復権—新たなまちおこし・村おこしを目指して—」への参加	比嘉佑典・石井隆憲・佐藤俊一・後藤武秀・井上貴也・竹内老子	223～224
学術フロンティア研究会合・委員会・研究成果刊行作業等への出席	西野 節男	224
〔研究報告〕		
日韓文化比較への試論としての人形論—日本のリカちゃん人形と韓国のミミちゃん人形を通して—	小澤 康則	225～236
〔平成二〇年度東洋大学中国扶貧「移民新村」政策研究班「中国内陸部における貧困対策に関する研究—「移民新村」政策を中心にして（３）—」〕		
	阿部 照男（研究代表）	237(横80)～316(横1)
第三部 平成20年度研究活動		237(横80)
高見邦雄氏談話要点（2008年9月18日、山西省大同市）	羅 歆鎮	238(横79)～239(横78)
第二部 平成20年度調査報告	飯塚 勝重	240(横77)～242(横75)
（３）子長県扶貧開発工作状況（2008年9月11日）	郝 潤平（高木晶子訳）	243(横74)～250(横67)
（２）延川市扶貧開発工作状況（2008年9月11日）	郝 潤平（高木晶子訳）	250(横67)～255(横62)
（１）延安市における扶貧移民政策の取り組みと将来（2008年9月11日）	郝 潤平（続三義訳）	255(横62)～259(横58)
農村末端政府の公共サービス供給能力を高める対策と提案—陝西を例として—	王 峰虎	260(横57)～268(横49)
いかに貧困救済のトラップから脱出するか	関権・王漢儒	269(横48)～277(横40)
「三西」移民政策の回溯的分析について	包 曉霞（高木晶子訳）	278(横39)～289(横28)
第一部 日中国際シンポジウム開催報告		
	阿部 照男	311(横6)～312(横5)
「中国扶貧開発と農村発展」国際学術シンポジウムにおける挨拶	李 志春（続三義訳）	309(横8)～311(横6)
（代表講演３）陝西省における扶貧政策の実施状況	謝 浩民（続三義訳）	295(横22)～296(横21)
（代表講演２）中国における扶貧開発の成果と展望	張 軍拡（続三義訳）	296(横21)～297(横20)
（代表講演１）中国西部大開発と扶貧開発—我々の研究調査活動の経過—	阿部 照男	297(横20)～308(横9)
〔研究所プロジェクト「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の定礎に向けて—」〕	松本 誠一（研究代表）	317～342
アジア文化研究所プロジェクト「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の定礎に向けて—」計画による「日韓境域」調査		

	松本誠一・金東光・井出弘毅	324～328
日韓境域の移動方法—現在の海路を中心に—	松本 誠一	329(横14)～338(横5)
The Making Process of a Transnational Community in the Philippines: In the Case of Prewar-Davao City	Masatoshi Ikeda	339(横4)～342(横1)
調査・研究活動		343～344
〔調査研究活動〕		
トルコにおける日本・トルコ関係史関連史料の調査	三沢 伸生	344
中国における新農村建設と持続可能な発展に関する研究	郝仁平・横川伸・続三義・飯塚勝重・阿部照男	344
韓国経済の特性と会社法改正の動向の調査	井上 貴也	344～345
〔研究集会報告〕		
ミャンマーの現状—日本人ミャンマー研究者たちの分析から—	石井 隆憲	345
ミャンマーの軍政はなぜこれほど長く続くのか	中西 嘉宏	345～346
〔研究例会報告〕		
中国における退耕還林政策と後続産業	飯塚 勝重	346～347
日本・トルコ関係史の検討	三沢 伸生	348～349
中国高度成長の光と影—日本との比較—	南 亮進	349
〔研究会合報告〕		
学術フロンティアシンポジウム「地域再生時代における固有文化の復権—新たなまちおこし・村おこしを目指して—」		349
学術フロンティア「日本・ベトナムシンポジウム」「承天フェににおける伝統文化の変容—人類学・歴史学および内・外の視点からの接近—」		349～350
学術フロンティア「日本・カンボジアシンポジウム」		
「開発のための訓練・教育・文化的アイデンティティ—アジア諸国の比較研究—」		350
研究所プロジェクトシンポジウム		
「アジア地域経済の法的諸相—韓国経済の特性と会社法改正の動向—」		350
研究所プロジェクトコロキウム		
「東アジアの境域研究—済州人のトランスナショナリティを中心に—」		350
研究所所報		351～364

○2009年（創立五十周年記念号 第44号） 2010年2月発行

「アジア文化研究所」創立五〇周年 お祝いのことば	竹村 牧男学長	1～2
「アジア文化研究所」創立五〇周年にあたって	谷口 房男所長	3～4
齊如山と『国劇画報』	有澤 晶子	5～15
アジア・アフリカ研究所とバンドン会議	松本 誠一	17(横204)～28(横193)
韓国における日本関係学会	小澤 康則	29(横192)～40(横181)
中国における緑化政策—退耕還林補助政策と後続産業（2）—	飯塚 勝重	41(横180)～55(横166)
日中逐次通訳について—通訳の試験問題から—	続 三義	56(横165)～70(横151)
環北部湾区系新石器時代早期文化初探	廖 国一	71(横150)～82(横139)
ヴェトナムにおける城隍についての予備的考察—神蹟を中心として—	高津 茂	83(横138)～120(横101)
私立インドネシア・イスラーム大学（UII）の発展—旧秩序期（一九六五年以前）の大学経営にお		

ける「宗教」と「一般」をめぐって—	中田 有紀	121(横100)～134(横87)
インドネシア国際私法における総論的課題	佐々木 彩	135(横86)～146(横75)
フランスにおける中国系アソシエーションと新移民の流入	山本須美子	147(横74)～164(横57)
オスマン帝国末期の日本人商店—中村商店イスタンブル支店をめぐって(上)—	高橋 忠久	165(横56)～177(横44)
篠原助市における教育学理論の形成・展開とデューイ思想受容との関係の解明		
—永野芳夫の場合との対比を念頭において—	米澤 正雄	178(横43)～193(横28)
PUMPKIN(模擬原爆)の投下を当時の日本の報道機関はどう報じたか(二)	菊池 良輝	194(横27)～206(横15)
「Vてくる」と“V来”との対照研究	王 学群	207(横14)～220(横1)
〔東洋大学アジア文化研究所(旧東洋大学アジア・アフリカ文化研究所)創立50周年行事〕		222(横63)～284(横1)
I. 50周年記念座談会「研究所50年の回顧」		284(横1)～260(横25)
II. 国際シンポジウム「アジアにおける農村社会の変容～環境・格差・貧困～」		222(横63)～258(横27)
中国経済発展における貧困と所得格差	関権・王漢儒	254(横31)～245(横40)
祖先祭祀の変化と正体性の持続に関する研究—安東地域の宗家を中心に—	金 美榮	244(横41)～241(横44)
南インドにおける貧困・不平等—ヴァディパティ村の事例(人類学的視点から)—	アントニサーミ・サガヤラージ	240(横45)～232(横53)
戦後日本の地域産業振興—中央の政策コントロールと立上る地方—	佐藤 俊一	231(横54)～225(横60)
〔平成二一年度「学術フロンティア」プロジェクト研究課題「東アジア・東南アジア諸国にみる経済発展と都市化による伝統文化の変容—大都市・地方都市・農村の比較—」〕		285～324
平成二一年度「学術フロンティア」プロジェクト		285～302
〔海外短期調査報告〕		
日本・インドネシア国際シンポジウム及び国際セミナー準備	比嘉佑典・西野節男・竹内老子	303～305
シンガポールにおける会社法調査—英連邦会社法制度の視点から—	井上 貴也	305～306
台湾法資料翻訳の調整・打ち合せ	後藤 武秀	306～307
〔国内短期調査報告〕		
台湾・沖縄の交流に関わる文献調査および打ち合せ	比嘉 佑典	307～308
〔海外短期調査報告〕		
最終年度研究成果報告書、国際セミナー、ワークショップ開催準備作業	西野 節男	308～309
日本・インドネシア国際シンポジウム、ワークショップへの出席および研究成果刊行打ち合せ出席	比嘉佑典・石井隆憲・後藤武秀・松本誠一・井上貴也・西野節男・井上星児・高橋正樹・服部美奈・竹内老子	310～315
祭祀公業を通じた台湾企業の活動調査	後藤 武秀	315～316
資料収集および成果刊行物編集打ち合せ	井上 星児	316
インドネシア・イスラーム教育調査	西野 節男	316～321
インドネシアの華人教育に関する調査	服部 美奈	321～324
〔トランスナショナル・コミュニティ研究班報告「研究所プロジェクト(第2年次)境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の定礎に向けて—」〕		

	松本 誠一（研究代表）	326～332
〔平成二十一年度研究所プロジェクト報告「近代日本におけるトルコ（タタール）系イスラーム教徒にかんする基礎的研究」〕	三沢 伸生（研究代表）	333～366
戦後日本におけるトルコ（タタール）系格闘技選手に関する覚書	石井隆憲・三沢伸生	335(横32)～340(横27)
戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動（４）—コンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブル日本商品館）に関する研究—	三沢 伸生	341(横26)～356(横11)
田健治郎のイスタンブル訪問（1896年）—『鵬程日誌』にみる日本商店とオスマン宮廷—	三沢伸生・石丸由美	357(横10)～366(横1)
〔平成21年度東洋大学中国扶貧「移民新村」政策研究班報告「中国内陸部における貧困対策に関する研究—「移民新村」政策を中心にして（４）—」〕	阿部 照男（研究代表）	368(横31)～384(横15)
第2部 草原地帯の移民新村について		368(横31)～375(横24)
第1部 内モンゴル調査地域の概要	アルタンボリグ	376(横23)～383(横16)
〔「中国農村経済の構造変化と労働市場—「ルイス転換点」に関する日中比較研究」〕	郝 仁平（研究代表）	386(横13)～398(横1)
日本の経済転換点から得られる含意	関 権	386(横13)～396(横3)
〔「アジア文化圏における経済法制の諸相」〕	井上貴也・後藤武秀・李芝妍	399(横2)～400(横1)
調査・研究活動		401～404
〔調査研究活動〕		
中国の長江デルタ地域において新農村建設及び郷鎮企業の発展に関する調査	郝 仁平	401～402
中国における労働契約法実施の資料収集と聞き取り調査	後藤 武秀	402
韓国商法の改正に関する情報および文献の収集	李 芝妍	402
中国内モンゴル周辺の半農半牧化農戸、退耕還林・還草地における移民新村、砂漠化防止・緑化対策などの現地調査	郝仁平・南亮進	402～403
研究所プロジェクト「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の定礎に向けて—」による境域現地調査	山本須美子	403～404
研究会合報告		404～411
〔年次集会報告〕		
グローバル化した会社法と経済危機—台湾・韓国の会社法を題材に—	井上 貴也	404～405
金融危機と中国の成長モデルの変化	朱 炎	406
中国の生態環境とモンゴル牧畜民の暮らし	児玉香菜子	407
研究所所報		412～424

○2010年（第45号） 2011年2月発行

北宋景祐刊『漢書』覆刻本の概観—形態的問題点—	石岡 浩	1～15
馮夢龍改編『邯鄲記』考	有澤 晶子	16～28
チャン・ダオ・クワン（Trần Đạo Quang）とカオ・ダイ・ミン・チョン・ダオ（Cao Đài Minh Chơn Đạo）の形成過程	高津 茂	29(横116)～45(横100)
「Yang Ndu とは誰？」—ヴェトナム少数民族居住区におけるキリスト教の昔話利用法について—	本多 守	46(横99)～57(横88)
マレーシアにおける人種概念に関する一考察	中村 理恵	58(横87)～72(横73)
1840年代における東方正教徒「共同体」運営構造へのオスマン帝国政府の政策		

—ロゴフェット問題を中心に—	吉田 達矢	73(横72)～83(横62)
北部湾旅游新农村的建设与“泛北部湾旅游圈”的构建	廖国一・譚滢莎	84(横61)～93(横52)
神戸モスク建立—昭和戦前期の在神ムスリムによる日本初のモスク建立事業—	福田 義昭	94(横51)～113(横32)
PUMPKIN（模擬原爆）の投下を当時の日本の報道機関はどう報じたか（三）	菊池 良輝	114(横31)～124(横21)
漢詩から入る中国語教育—発音の壁を乗り越えるために—	続 三義	125(横20)～134(横11)
わが国の進路指導・キャリア教育における職業観・勤労観に関する研究	吉田 辰雄	135(横10)～144(横1)
〔トランスナショナル・コミュニティ研究班報告「研究所プロジェクト（第3年次）境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の定礎に向けて—」〕	松本 誠一（研究代表）	145(横24)～168(横1)
transnational ノート	松本 誠一	145(横24)～150(横19)
台湾，中国大陸兩岸交流の基本法制—基本法の紹介を中心として—	後藤 武秀	151(横18)～156(横13)
〔平成二十二年度研究所プロジェクト報告「近代日本におけるトルコ（タタール）系イスラーム教徒にかんする基礎的研究」〕	三沢 伸生（研究代表）	169～192
在日トルコ（タタール）系イスラーム教徒に関連する視覚史料のデータベース化事業	駒井義昭・石井隆憲・三沢伸生	171(横22)～180(横13)
戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動（5）		
—コンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブル日本商品館）に関する研究—	三沢 伸生	181(横12)～192(横1)
〔平成22年度研究所プロジェクト研究報告「中国農村経済の構造変化と労働市場—「ルイス転換点」に関する日中比較研究—」〕	郝 仁平（研究代表）	194(横17)～210(横1)
財政支持农村金融发展的对策建议	王 峰虎	194(横17)～200(横11)
统筹城乡发展背景下中国农村扶贫开发政策选择	吴 克强	201(横10)～208(横3)
〔研究所プロジェクト平成22年度事業報告「アジア文化圏における経済法制的諸相」〕	井上 貴也（研究代表）	212(横15)～226(横1)
台湾会社法の現状と課題	蔡 英欣	212(横15)～220(横7)
台湾企業の源流としての台股—『台湾私法』の所説を中心として—	後藤 武秀	221(横6)～224(横3)
調査・研究活動		227～229
〔調査研究活動〕		
「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の定礎に向けて—」に関する調査研究	比嘉 佑典	227
「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ—地域間比較研究の定礎に向けて—」計画による「日韓境域」調査	松本誠一・井出弘毅	227
「近代日本におけるトルコ（タタール）系イスラーム教徒にかんする基礎的研究」の為の調査・研究	駒井 義昭	227
「近代日本におけるトルコ（タタール）系イスラーム教徒にかんする基礎的研究」に基づく、トルコ記念館の調査	三沢 伸生	227
国際シンポジウム「低炭素社会の構築と中国経済の構造化」に出席、および資料調査・収集、共同研究に関する打ち合わせ	郝 仁平	227～228

「アジア文化圏における経済法制的諸相」の一環として、研究成果報告	後藤 武秀	228
「唐代「牛李党争」に関する基礎的研究」に基づく展覧会見学および資料調査	竹内 洋介	228～229
「唐代「牛李党争」に関する基礎的研究」に基づく、墓誌・石刻史料調査および資料収集	竹内 洋介	229
研究会合報告		229～256
〔年次集会報告〕		
フィリピン＝中東間における国際労働力移動の展開―リクルーターの役割に焦点を置いて―	渡邊 暁子	229～230
中東産油国における国際労働力移動と受入国＝送出国関係の新展開		
―UAE・カタール・バハレーン・クウェートの動向を中心に―	堀抜 功二	230～231
河口慧海著『正真佛教』直筆原稿について	飯塚 勝重	233～243
〔研究例会報告〕		
中国王朝体制と近代運輸テクノロジーの邂逅		
―国家的交通体系の系譜から見た清末交通近代化の展開―	千葉 正史	247～253
曹植と丁儀―三国志の謀反人の系譜―	石岡 浩	253～255
研究所所報		257～268

○2011年（第46号） 2012年2月発行

曹植と丁儀―漢魏交代期における謀反の痕跡―	石岡 浩	1～19
邯鄲夢の系譜	有澤 晶子	20～32
グエン・ゴック・トゥオン (Nguyễn Ngọc Tương) とカオダイ・バン・チン・ダオ (Ban Chinh Dao Cao Dai) の成立をめぐる	高津 茂	34(横151)～49(横136)
ベトナム・ラムドン省に居住する「トリン」と自称する人々	本多 守	50(横135)～62(横123)
少数民族の肖像―ヴェトナムにおけるチャム少数民族画家による絵画―	中村 理恵	63(横122)～81(横104)
現代インドネシアの教育改革とイスラーム化の歴史的背景		
―ジョグジャカルタにおけるイスラーム教育の展開に着目して―	中田 有紀	82(横103)～93(横92)
パキスタン北部山岳地帯の妖怪	子島 進	94(横91)～103(横82)
環北部湾新石器时代墓葬研究	廖 国一	104(横81)～113(横72)
「餅」と“餅”―日中対照―	続 三義	114(横71)～126(横59)
中国における緑化政策について―退耕還林・草政策と陝北地区移民新村戸口調査(1)―	飯塚 勝重	127(横58)～143(横42)
日本語教材の中に見る文化	小澤 康則	144(横41)～154(横31)
篠原助市における「国民教育」論としての教育学理論の形成・展開とデューイ思想の受容・評価との関係の解明―永野芳夫におけるデューイ思想受容との対比を念頭においた、福井師範時代の篠原の「新教育」思想(デューイ『学校と社会』を含む)受容の検討―	米澤 正雄	155(横30)～172(横13)
越境する気功の文化的価値の変化について―日本に滞在する中国人気功師のライフヒストリーから―	木内 明	173(横12)～184(横1)
〔研究所プロジェクト平成23年度事業報告「アジア文化圏における経済法制的諸相」〕		
	井上 貴也(研究代表)	186(横99)～284(横1)

深圳大学 東洋大学 中日国際共同検討会「日中会社法制の比較研究—実務への貢献を目指して—」	井上 貴也 (研究代表)	186(横99)～216(横69)
日系進出企業経営における法的リスクの回避策	田 暉	186(横99)～189(横96)
中国における M & A の法規制について—日本法との比較を踏まえながら—	金 洪玉	190(横95)～195(横90)
日本における取締役の責任に関する問題	井上 貴也	196(横89)～201(横84)
中国における株主代表訴訟制度の現状と問題点	蔡 元慶	202(横83)～208(横77)
台湾の同族企業の源流としての合股	後藤 武秀	209(横76)～212(横73)
中国「商法総則」の制定に関する若干の考察	劉永光・王雅芳	218(横67)～219(横66)
Some suggestions on “General Principles of Commercial Law of China”: Principles and Framework	LIU Yongguang & WANG Yafang	220(横65)～230(横55)
中国における M & A の法規制について	金 洪玉	231(横54)～243(横42)
中国における株主代表訴訟制度の現状と問題	蔡 元慶	244(横41)～267(横18)
会社役員賠償責任保険 (D&O 保険)	李 芝妍	268(横17)～275(横10)
2011年韓国会社法の改正の概要	李 哲松	276(横9)～282(横3)
〔平成23年度研究所プロジェクト研究報告「中国農村経済の構造変化と労働市場—「ルイス転換点」に関する日中比較研究—〕	郝 仁平 (研究代表)	286(横17)～302(横1)
中国における「三農問題」の現状と展望—近年の政策動向、効果と課題—	郝 仁平	286(横17)～300(横3)
〔トランスナショナル・コミュニティ研究班報告「研究所プロジェクト (第1年次) アジア境域における跨境的生活様式の研究—東アジア・東南アジアの比較—〕	松本 誠一 (研究代表)	303(横22)～324(横1)
中国大陸人民と台湾人民の交流に伴う法的問題の一齣—中国大陸における離婚関係書類の台湾における適用—	後藤 武秀	303(横22)～306(横19)
Ⅷ 研究所プロジェクト「アジア境域における跨境的生活様式の研究—東アジア・東南アジアの比較—」—下関市の在日コリアンおよび韓国・釜山市における日本からの引揚者を対象として—	宮下 良子	307(横18)～311(横14)
Ⅷ 研究所プロジェクト「アジア境域における跨境的生活様式の研究—東アジア・東南アジアの比較—」計画による韓国・巨済島調査、および釜山・東亜大学校、下関・東亜大学における「日韓境域文化」ワークショップ開催	松本誠一・井出弘毅	311(横14)～316(横9)
V-1 東南アジア海民の動態に関する植民地資料の収集と翻訳	長津 一史	320(横5)
IV-2 平成22年度研究所プロジェクトによるフォーラム「台湾をめぐる境域」		320(横5)
Ⅲ-2 两岸関係基本法の運用に関する調査	後藤 武秀	319(横4)
Ⅱ-4 研究所プロジェクトによるフォーラム「跨境コミュニティにおけるアイデンティティの持続と再編—東アジアと東南アジアからの展望」		321(横4)～322(横3)
Ⅱ-3 シンガポール調査「中国人留学生による大学の国際化に関する文献収集と聞き取り調査」	山本須美子	322(横3)～323(横2)
〔平成二十三年度研究所プロジェクト報告「近代日本の民族スポーツ形成におけるアジア諸民族の役割」〕	石井 隆憲 (研究代表)	325～358
在日タタール人と日本の学界との接点—大久保幸次の著作分析—	三沢伸生・大澤広嗣	327(横32)～354(横5)
近代スポーツ・メディアとアジア民族に関する覚書—民族スポーツとしての格闘技の検証に向けて—	石井隆憲・三沢伸生	355(横4)～358(横1)

調査・研究活動		359～362
〔調査研究活動〕		
「中国農村経済の構造変化と労働市場」計画による中国北京市において関連資料の調査・収集および共同研究の打合せ	続 三義	360
「唐代「牛李党争」に関する基礎的研究」に関わる文献調査	竹内 洋介	361～362
研究会合報告		363～368
〔年次集会報告〕		
エルトゥール号事件を契機とした日本人僧侶のトルコ・欧州訪問	奥山 直司	362～363
二〇世紀前半におけるイスタンブールの日本人軍人たち	三沢 伸生	363
昭和戦前・戦中期における神戸のタタール人	福田 義昭	363～364
〔研究例会報告〕		
生涯は鏡中に在り—薛稷「秋朝覧鏡」詩について—	坂井多穂子	365～366
華中科技大学交換研究員との座談会記録（抄）	野間 信幸	369(横13)～381(横1)
研究所所報		382～391
○2012年（第47号） 2013年2月発行		
秦の連坐制と「与盗同法」「与同罪」—秦法がとくに牽制する犯罪—	石岡 浩	1～20
中国における見立の表象としての八景	有澤 晶子	21～34
カオダイ・ティエン・ティエン（先天 Tiên Thiên）派の創設過程		
	高津 茂	36(横197)～57(横176)
戦中期における国内ムスリム団体の統制と「回教公認問題」		
—在神戸ムスリム・コミュニティの視点から—	福田 義昭	58(横175)～77(横156)
ベトナム北部村落における意思決定—葬送互助慣行の改変をめぐる議論の分析から—		
	川上 崇	78(横155)～94(横139)
ヴェトナム・スレ集団での社会変動モデルの適用性—ラムドン省での事例から—		
	本多 守	95(横138)～108(横125)
ムスリム NGO の理念と活動—パキスタンとトルコの事例から—		
	子島進、ダニシマズ・イディリス	109(横124)～117(横116)
中越边境跨界民族交往的几种形式及其作用——以环北部湾中越边境瑶、京两族为例——		
	廖国一・白爱萍	118(横115)～127(横106)
Growth, Environment, and Politics: The Case of China		
	Kwan S. Kim, Renping Hao, Andrew Champeau	128(横105)～149(横84)
日中翻译—《天声人语》(2012.7.29) 的汉语译文分析—	续 三义	150(横83)～162(横71)
中国における緑化政策について—退耕還林・草政策と陝北地区移民新村戸口調査（2）—		
	飯塚 勝重	163(横70)～179(横54)
韓国大学生の語る怪談・都市伝説	小澤 康則	180(横53)～193(横40)
京都帝国大学・同大学大学院在学中の篠原助市における「批判的教育学」確立とデュイ教育思想		
批判との関係の解明	米澤 正雄	194(横39)～215(横18)
(研究ノート) Structural Change of Population in Nepal: From Preliminary Results of 2011 Population Census		
	KOBAYASHI Masao	216(横17)～223(横10)
(資料紹介) 韓国情報公開法の新旧比較	山形 勝義	224(横9)～232(横1)
〔トランスナショナル・コミュニティ研究班報告「研究所プロジェクト（第2年次）アジア域域における跨境的生活様式の研究—東アジア・東南アジアの比較—」〕		

福建省アモイと台湾の城隍廟を通じた宗教文化の交流	松本 誠一（研究代表）	234(横25)～258(横1)
(8)「東南アジアの海とひと」研究会の共催	後藤 武秀	234(横25)～237(横22)
(5) シンガポール調査	長津 一史	240(横19)
(4) 韓国・巨済島、釜山市調査	山本須美子	241(横18)
(3) 香港、中国深圳市調査	松本誠一・井出弘毅	242(横17)～248(横11)
(2)(6) 下関市調査・(7) 韓国・釜山市調査「下関市の在日コリアンおよび韓国・釜山市における日本からの帰還者を対象とした聞き取り調査」	後藤 武秀	248(横11)～249(横10)
(1) 下関市、福岡市調査	宮下 良子	249(横10)～255(横4)
〔平成二十四年度研究所プロジェクト報告「近代日本の民族スポーツ形成におけるアジア諸民族の役割」〕	井出 弘毅	255(横4)～257(横2)
トルコ・イスタンブールにおける合気道の伝播と現状—その覚書—	石井 隆憲	259～290
『中外日報』所収イスラーム関係記事目録（1937～45年）—データベース化事業を通して—	三沢伸生・大澤広嗣	261(横30)～268(横23)
〔研究所プロジェクト平成24年度事業報告「東アジア・東南アジアにおける西洋近代法と慣習法の関係に関する研究」〕	後藤 武秀（研究代表）	292(横33)～324(横1)
对于台湾接受西洋近代法及调整惯例法—以台湾传统公司组织的合股为例—	後藤 武秀	292(横33)～298(横27)
AKSES KEPADA KEADILAN NASABAH PERBANKAN ISLAM: PERBANDINGAN INDONESIA DAN MALAYSIA（イスラーム銀行顧客の司法へのアクセス—インドネシアとマレーシアの比較—）	Ro'fah Setyowati, Sakina Shaik Ahmad Yusoff, Noor Inayah Yaakob, Jasri Jamal	299(横26)～311(横4)
調査・研究活動		325～327
研究会合報告		328～333
〔研究例会報告〕		
中国巡礼の過去と現在—巡礼の道、宿、装束—	石川 重雄	330～331
研究所所報		334～342
○2013年（第48号） 2014年2月発行		
三足烏原像試探	飯塚 勝重	1～14
公卒・士伍・庶人—秦代軍功爵制度下の差別標識（上）—	石岡 浩	15～27
中国伝統演劇における虚擬表現考—『紅鬃烈馬』を通してみるしくみ—	有澤 晶子	28～40
カオダイ真理聖会（Hội Thánh Cao Đài Chơn Lý）の聖室（Thánh Thất）について	高津 茂	41(横336)～56(横351)
ヴェトナム・ラムドン省におけるエスニック集団間の社会階層と文化の変容	本多 守	57(横350)～75(横332)
中央高地の人—グエン・ゴク・アンの作品—	中村 理恵	76(横331)～86(横321)
ベトナムにおける忌日祭祀の歴史的変化—北部村落における伝統の持続と変化—	川上 崇	87(横320)～102(横305)
チャムの伝統文書にみるイスラーム的宗教知識—ベトナム中南部のチャムが継承する写本及び目録の分析を通じた予備的考察—	吉本 康子	103(横304)～110(横297)

マレーシア・サバ州におけるイスラームの制度化—歴史過程とその特徴—

長津 一史 111(横296)～128(横279)

戦間期のイスタンブールにおける日本の経済活動(6) —コンスタンチノーブル日本商品館(イスタンブール日本商品館)に関する研究—

三沢 伸生 129(横278)～148(横259)

戦前期における在名古屋タタール人の交流関係に関する一考察

吉田 達矢 149(横258)～160(横247)

日中翻訳について—「天声人語」(2012.6.27)の翻訳例から—

続 三義 161(横246)～172(横235)

韓国の祝祭日および記念日

小澤 康則 173(横234)～182(横225)

〔トランスナショナル・コミュニティ研究班報告「研究所プロジェクト(第3年次) アジア境域における跨境的生活様式の研究—東アジア・東南アジアの比較—」〕

松本 誠一(研究代表) 183(横224)～218(横189)

コジェ(巨済)文化院について

松本 誠一 183(横224)～190(横217)

宗親結合に関する慣習法の現実についての考察—四川省瀘県立石鎮, 林氏宗親会を考察対象として—

林 瀚(後藤武秀訳) 191(横216)～196(横211)

近年の中国における宗親会活動について—高其才主編『当代中国婚姻家庭習慣法』所収, 林瀚「宗親結合に関する慣習法の現実についての考察: 四川省瀘県立石鎮, 林氏宗親会を考察対象として」試訳—

後藤 武秀 197(横210)

(10) 韓国・釜山市調査

宮下 良子 204(横203)～205(横202)

(9) 山口市調査

宮下 良子 205(横202)

(8) シンガポール調査

山本須美子 206(横201)

(7) 韓国・巨済市、統営市、釜山市調査

松本誠一・井出弘毅 207(横200)～211(横196)

(6) 研究会報告

岩田 剛 212(横195)

(5) 研究会報告

長津 一史 212(横195)

(4) 下関市調査

宮下 良子 213(横194)

(3) 下関市調査

井出 弘毅 213(横194)～215(横192)

(2) 中国・深セン市、台湾調査

後藤 武秀 215(横192)

(1) 中国、アモイ調査

松本 誠一 215(横192)～217(横190)

〔平成25年度研究所プロジェクト(第3年次)「近代日本の民族スポーツ形成におけるアジア諸民族の役割」〕

石井 隆憲(研究代表) 219(横188)～262(横145)

1950年代における在日タタール人に関する史料—データベース化すべき私文書史料一例—

三沢 伸生 219(横188)～224(横183)

東京のタタール移民関連写真資料—1940年代から60年代まで—

沼田彩誉子 225(横182)～232(横175)

An Essay on the Immigration of the Turk-Tatars to Japan

Ali Merthan DÜNDAR 233(横174)～242(横165)

エジプトの合気道—ムハンマド・アル＝サイイド氏の道場(エジプト合気道センター)を訪ねて—

福田 義昭 243(横164)～252(横155)

小豆島合気道調査報告—トルコと日本における合気道稽古の比較の視点から—

石井 隆憲 253(横154)～260(横147)

〔研究所プロジェクト平成25年度事業報告「東アジア・東南アジアにおける西洋近代法と慣習法の関係に関する研究」〕

後藤 武秀(研究代表) 264(横143)～406(横1)

An Examination into the Current State of China's Postgraduate Legal Education

LIU Yongguang 264(横143)～277(横130)

Relational Dynamics Between State Law and Customary Law (A Case Study on Recognition of Ulayat Right to Land)	Sukirno	278(横129)～286(横121)
漢陽大学校法学研究所国際セミナー	後藤 武秀 (研究代表)	288(横119)～312(横95)
植民地時期台湾における笞刑—朝鮮における笞刑との比較のための前提作業—	後藤 武秀	288(横119)～292(横115)
일본채권법의 개정내용이 보험계약에 미칠 영향 (日本債権法の改正内容が保険契約に及ぼす影響)	이 지연 (李 芝妍)	293(横114)～303(横104)
日本民法債権法改正における連帯債務の絶対的効力事由の検討	深川 裕佳	304(横103)～310(横97)
国際セミナー 東アジア・東南アジアにおける西洋近代法と慣習法の関係に関する研究	後藤 武秀 (研究代表)	314(横93)～342(横65)
MENUNTUT PEMERINTAH DALAM BIDANG PENDIDIKAN PERJUANGAN RAKYAT DI MAHKAMAH KONSTITUSI (教育分野における政府への要求 憲法裁判における民衆による奮闘)	Murni Ramli (ムルニ・ラムリ)	314(横93)～317(横90)
日本統治下台湾における慣習法の変遷—妾について—	後藤 武秀	318(横89)～323(横84)
HUKUM ADAT: HUKUM DINASMIS DAN PROBLEMATIKANYA DI ERA GLOBAL (アダット法—グローバル時代の法のダイナミズムと課題—)	Triyoro (トゥリヨノ)	324(横83)～328(横79)
インドネシア会社法における企業統治について	井上 貴也	329(横78)～333(横74)
INDONESIAN CORPORATION REGULATION (インドネシア会社法)	Paramita Prananingtyas (パラミタ・プラナニンチャス)	334(横73)～340(横67)
セミナー 東アジア・東南アジアにおける国家法, 慣習法, 宗教法の関係		
(Hubungan Hukum Negara, Hukum Adat dan Hukum Agama di Negara Asia dan Asia Tenggara)	後藤 武秀 (研究代表)	344(横63)～402(横5)
わが国際私法における本国法の決定—人的不統一法国に国籍を有する者の例を中心として—	佐々木 彩	344(横63)～352(横55)
DINAMIKA PERKEMBANGAN SASI LAUT DI KEPULAUAN KEI, MALUKU (マルク州ケイ諸島におけるサシ・ラウトの発展)	Sri Wahyu Ananingsih (スリ・ワハユ・アナニンシ)	353(横54)～361(横46)
企業統治の変遷と日本での慣習 (Transisi dan Praktek Tata Kelola Perusahaan di Jepang)	井上 貴也	362(横45)～368(横39)
Dinamika Relasi Hukum Negara Dengan Hukum Adat (Studi Kasus Pengakuan Hak Ulayat Atas Tanah) (国家法と慣習法の関係性—土地の共有権 (ハック・ウルヤット) 認識の事例—)	Sukirno (スキルノ)	369(横38)～381(横26)
インドネシアのムスリムの婚姻・離婚をめぐる裁判と法に関する研究の可能性 (Potensi Penelitian tentang Peradilan dan Hukum tentang Pernikahan dan Perceraian Muslim di Indonesia)	中田 有紀	382(横25)～392(横15)
東アジアにおける慣習法の位置づけと機能 (KEDUDUKAN DAN FUNGSI HUKUM ADAT DI ASIA TIMUR)	後藤 武秀	393(横14)～400(横7)
調査・研究活動		407～410
研究会合報告		411～417
[公開講演会報告]		
中国の経済成長、環境問題と持続可能な発展	Kwan S. Kim	413

〔研究例会報告〕

李徳裕と牛僧孺・李宗閔—唐代「牛李党争」の始期をめぐって—	竹内 洋介	415～416
台湾山地「教育所」活動の中間調査報告	大川 正彦	417
研究所所報		418～426

○2014年（第49号） 2015年2月発行

「漢胸忍令景君碑」（初拓本）に見る景雲とその周辺	飯塚 勝重	1～18
唐初における国号〈隋〉字の字形変化—〈煬帝墓誌〉の発見によせて—	高橋 継男	19(横284)～42(横261)
旧慣温存の臨界—植民地朝鮮における旧慣温存政策と皇民化政策における総督府の「ジレンマ」—	吉川 美華	43(横260)～64(横239)
善連法彦と『土耳其行紀事』	奥山 直司	65(横238)～81(横222)
トゥーラン主義運動家としての今岡十一郎	シナン・レヴェント	82(横221)～102(横201)
新潟のフェアトレード小売店—経営者の価値観—	子島進・石附さゆみ	103(横200)～115(横188)
日汉翻译—《天声人语》(2013.5.29)的汉语译文分析—	续 三义	116(横187)～125(横178)
韓国の教育課程と日本語教科書	小澤 康則	126(横177)～138(横165)
オランダにおける文氏宗親会の現状と役割	山本須美子	139(横164)～152(横151)
中国国際私法における弱者利益の保護	徐 瑞静	153(横150)～170(横133)
ヴェトナム、ニントゥアン省のチャム族のリネージ調査から	中村 理恵	171(横132)～182(横121)
インドネシア・地方語教育へのハングル導入の多元的背景		
—分権化、グローバル化、「危機言語」保存—	山口 裕子	183(横120)～198(横105)
Changing International Investment for Global Sustainable Development	太田 辰幸 (OTA Tatsuyuki)	199(横104)～213(横90)
〔研究所プロジェクト平成26年度事業報告「東アジア・東南アジアにおける西洋近代法と慣習法の関係」〕	後藤 武秀 (研究代表)	214(横89)～272(横31)
近代マカオにおける西洋近代法と伝統中国法の調整—黎曉平・汪清陽『望洋法雨—全球化与澳門民商法的變遷』の紹介を通して—	後藤 武秀	214(横89)～225(横78)
最判平24・5・28民集66巻7号3123頁における理論上の問題について		
—保証ファクタリング契約は保証契約か—	深川 裕佳	226(横77)～232(横71)
韓国の保証保険に関する一考察	李 芝妍	233(横70)～253(横50)
中国会社法における資本制度の改革	李 秀文	254(横49)～260(横43)
清末民初における志田鉀太郎の中国商法に対する貢献	朱 大明	261(横42)～266(横37)
中国における取締役会に関する法制度と実際の慣習	劉 永光	267(横36)～271(横32)
〔研究所プロジェクト（第1年次）「グローバル化時代の境域社会における民族再編のダイナミクス—東南アジア・東アジアの地域間比較—」〕	長津 一史 (研究代表)	274(横29)～302(横1)
国境を超える「マレー世界」運動の可能性と問題—「ドゥニア・ムラユ・ドゥニア・イスラーム」(DMDI)運動を中心に—	左右田直規	274(横29)～275(横28)
サバのブギス移民と民族団体	伊藤 眞	276(横27)～279(横24)
ダバオ市のサマ人とキリスト教・基礎情報	青山 和佳	280(横23)～281(横22)
東ティモール／インドネシア国境周辺	福武慎太郎	281(横22)～283(横20)
インドネシア国リアウ島嶼州への旅で考えたこと—海と陸, フローとストック—	加藤 剛	283(横20)～285(横18)

フィリピンとマレーシアのあいだの海域世界—スル・ゾーンを生きる人びと—

	石井 正子	286(横17)～287(横16)
インドネシアにおける領海ガバナンスの政治	本名 純	287(横16)～288(横15)
韓国・巨済市、泗川市、釜山広域市調査	松本誠一・井出弘毅	290(横13)～293(横10)
調査・研究報告		303～306
研究会合報告		307～313
〔年次集会報告〕		
「現代ミャンマーにおける政治と宗教のダイナミクス」問題提起	石井 隆憲	307～308
研究所所報		314～324

○2015年（第50号） 2016年2月発行

中国における『蘭陵王』相伝考	有澤 晶子	1～13
新仏教徒能海寛と一統教	飯塚 勝重	14～33
ツングース文化と日本文化との比較研究—婚姻習俗を中心に—		
	劉永鵬・王辰	35(横312)～50(横297)
『漢城新報』に見る旧韓末期日本人居留民の生活	小澤 康則	51(横296)～68(横279)
昭和期の日本文学における在日ムスリムの表象（1）—東京・朝鮮篇—		
	福田 義昭	69(横278)～91(横256)
台湾における六大都市への変遷—戦後台湾における地方自治制度と行政院直轄市を中心として—		
	山形 勝義	92(横255)～103(横244)
韓国における出入国管理法関連法令の改正と移住外国人の在留資格—中国・CIS 同胞と結婚移民者を中心に—	吉川 美華	104(横243)～125(横222)
中国国際私法における公序の概念について	徐 瑞静	126(横221)～134(横213)
中国の大学の日本文学授業における協働学習の実施と効果	王 浄華	135(横212)～145(横202)
それぞれのベトナム社会主義革命—ある農村起業家の成功と苦悩—		
	川上 崇	146(横201)～155(横192)
ヴェトナム，トアティン—フエ省における高地交易に関する調査		
	中村 理恵	156(横191)～164(横183)
The Transformation of Rural Society under the Economic Policies after 1992 in Duc Trong District, Lam Dong Province, Vietnam		
	本多 守、ファム・タイン・トーイ	165(横182)～186(横161)
コンスタンティノーブルのストゥディオス修道院—歴史と史料—		
	都甲 裕文	187(横160)～200(横147)
戦間期のイスタンブールにおける日本の経済活動（7完）—コンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブール日本商品館）に関する研究—	三沢 伸生	201(横146)～221(横126)
〔研究所プロジェクト（第2年次）「グローバル化時代の境域社会における民族再編のダイナミクス—東南アジア・東アジアの地域間比較—」	長津 一史（研究代表）	224(横123)～264(横83)
グローバル化時代の境域社会における民族再編のダイナミクス—東南アジア・東アジアの地域間比較—	長津 一史	264(横83)～257(横90)
インドネシア東ヌサトゥンガラ州ロテ島調査・インタビューメモ書き		
	長津一史・バルマン	256(横91)～248(横99)
在日コリアン寺院調査報告	宮下 良子	247(横100)～245(横102)
難民と十字架—ティモール島における宗教と言語の位相からみた国境問題—		

	福武慎太郎	243(横104)～237(横110)
タワウ移民社会におけるゆるやかな統合—	伊藤 眞	237(横110)～234(横113)
国境と境界と地域アイデンティティの動態	加藤 剛	233(横114)～231(横116)
ダバオ市のサマ人に関わるキリスト教布教とその影響	青山 和佳	231(横116)～229(横118)
誰が「バンサモロ (Bangsamoro)」なのか—フィリピン南部新自治政府設立過程における民族概念の再編—	石井 正子	229(横118)～227(横120)
インドネシア・ジョコウィ政権の海洋軸構想について	本名 純	226(横121)～225(横122)
国境を超える「マレー世界」運動の可能性と問題—「ドゥニア・ムラユ・ドゥニア・イスラーム」(DMDI) 運動を中心に—	左右田直規	224(横123)
〔研究所プロジェクト平成27年度事業報告「珠江デルタ地帯における西洋近代法と伝統的宗法規範の対立と同化に関する研究」〕	井上 貴也 (研究代表)	266(横81)～312(横35)
珠江デルタ地帯における西洋近代法と伝統的宗法規範の対立と同化に関する研究		
	井上 貴也	312(横35)～309(横38)
歴史的に見た台湾と日本の家族に関する法現象の共通性と文化的異質性——夫—妻多婦制度を例として—	後藤 武秀	308(横39)～304(横43)
香港会社法	朱 大明	303(横44)～296(横51)
한국에 있어서 생명보험전매제도에 대한 논의의 경과와 전망 (韓国における生命保険買取制度をめぐる議論の経過と展望)	金 善政 (李芝妍訳)	295(横52)～274(横73)
民間における手形割引の法的性質と対応措置—民事, 刑事の交錯する観点からの考察—	劉永光・鄭如夢	273(横74)～266(横81)
〔平成27年度井上記念研究助成 大型研究特別支援助成報告「アジアにおける国境をまたぐ生活スタイルの研究—東アジア・東南アジア・南アジアの比較を中心に—」〕		
	松本 誠一 (研究代表)	313(横34)～346(横1)
【研究課題】 アジアにおける国境をまたぐ生活スタイルの研究—東アジア・東南アジア・南アジアの比較を中心に—	松本 誠一	346(横1)～343(横4)
ニューデリー訪問雑記	山本須美子	342(横5)～340(横7)
タイで働く CLM 諸国の外国人労働者に関する調査報告—境域で生きるカンボジア人を事例として—	鈴木佑記・貝吹一成	339(横8)～335(横12)
ラオスにおける国境を跨いだ生活の諸相—複数の事例をもとにした研究課題の提示—		
	箕曲 在弘	334(横13)～329(横18)
韓国多文化家族関連法調査	吉川 美華	328(横19)～323(横24)
東洋大学アジア文化研究所法制実務研修	吉川 美華	322(横25)～313(横34)
調査・研究活動		347～350
〔調査・研究活動〕		
「東アジア・東南アジアにおける西洋近代法と慣習法の関係に関する研究」計画による海外における資料調査	後藤 武秀	347
研究会合報告		351～365
〔年次集会報告〕		
海外駐在員のメンタルヘルス研究の課題	後藤 武秀	351
〔研究例会報告〕		
植民地期台湾における原住民を対象とした養蚕活動とその後	大川 正彦	353～354
王浄華「中国における日本文学教育の現状と課題—华中科技大学を事例として—」研究例会報告		
	野間信幸・斎藤里美	355～359

唐代「牛李党争」再考—とくに「牛派」の理解をめぐって—	竹内 洋介	359～360
北宋における三人結隊の導入について	大室 智人	360～361
研究班活動報告		366～370
東アジア経済のグローバル化とガバナンスに関する研究	研究班代表 井上 貴也	366
構造転換期の中国経済と社会	研究班代表 郝 仁平	366
海外駐在員のメンタルヘルス研究	研究班代表 加藤千恵子	366～367
東南アジアにおける地域社会のダイナミクス—宗教、教育、ローカル化	ジェンダーをめぐるグローバル化と 研究班代表 後藤 武秀	367
多文化アジアにおける異文化接触と教育	研究班代表 斎藤 里美	368
中華世界の拡大と再生	研究班代表 高橋 継男	368
トルコ共和国の憲法裁判所	研究班代表 名雪 健二	368～369
中国の文化と社会	研究班代表 野間 信幸	369
トランスナショナルリティ研究	研究班代表 松本 誠一	369～370
近代日本・イスラーム世界関係史	研究班代表 三沢 伸生	370
研究所所報		371～377

著者・報告者別索引

著者名索引

※数字は掲載号

【A】

阿部 正次郎	ABE Shojiro	13, 21, 22, 23, 27
阿部 照男	ABE Teruo	24, 26, 27, 28, 31, 34, 35, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44
赤堀 雅幸	AKAHORI Masayuki	40, 42
アルタンボリグ	ALTANBULAG	44
スリ・ワハユ・アナニンシ	ANANINGSIH, Sri Wahyu	48
安藤 義教	ANDO Yoshinori	15
オリビエ・アンサー	ANSART, Olivier	14
青山 和佳	AOYAMA Waka	49, 50
A・R・アラスター	ARASTEH, Abdol Reza	23
有澤 晶子	ARISAWA Akiko	30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 50

【B】

白 愛萍	BAI Aiping	47
包 曉霞	BAO Xiaoxia	42, 43
卞 立強	BIAN Liqiang	21
バーク, モーゼス	BURG, Moses	3, 14, 15, 17, 19, 20, 21, 22, 23, 27

【C】

蔡 英欣	CAI Yingxin	45
蔡 元慶	CAI Yuanqing	46
アンドリュウ・シャンプー	CHAMPEAU, Andrew	47
張 世哲	CHANG Sae Cheol	24
陳 浜浜	CHEN BinBin	24
陳 俊森	CHEN Junsen	27, 40, 42
陳 敏	CHEN Min	28, 33
陳 朝陽	CHEN Zhaoyang	40
成 慶生	CHENG Qingsheng	41
千葉 正史	CHIBA Masashi	45
千葉 栄	CHIBA Sakae	4, 6, 7, 8, 10, 11, 12, 13, 14, 16
鎮西 恒也	CHINZEI Tsuneya	14, 15, 16, 18, 19, 20
崔 弘基	CHOE Hong-Kee	29
崔 柏	CHOI Baek	22
崔 在律	CHOI Jai-yul	23, 24
崔 咬洪	CHOI Min-Hong	22
アフナト・ジハン	CİHAN, Ahmet	40, 42

【D】

クリスチャン・ダニエルズ	DANIELS, Christian	34
イディリス・ダニシマズ	DANISMAZ, Idiris	47
ルフサンドーギーン・ダシブルブ	DASHPUREV, Luvsandoogii	21
トム・ダウリング	DOWLING, Tom	24
アリ・メルトハン・デュンダル	DÜNDAR, Ali Merthan	48

【F】

ファースチ・ファーズネ	FARZANEH, Farshchi	24, 25
アントネッラ・ファヴァロ	FAVARO, Antonella	24
深川 裕佳	FUKAGAWA Yuka	48, 49
福田 義昭	FUKUDA Yoshiaki	45, 46, 47, 48, 50
福井 吉孝	FUKUI Yoshitaka	37, 38, 39, 40, 41, 43
福鎌 忠恕	FUKUKAMA Tadahiro	11, 14, 15, 16, 22, 24, 25
福武 慎太郎	FUKUTAKE Shintaro	49, 50
船木 勝馬	FUNAKI Katsuma	1, 3, 5, 6, 9, 10, 11, 12, 13, 17
船津 富彦	FUNATSU Tomihiko	11, 16, 21, 24, 34
古田 暁	FURUTA Gyo	24

【G】

ヒサマロ・ガルグ	GARUGU, Hisamaro	31
ギョクヌル・ギョエバカン	GÖĞEBAKAN, Gökür	40
後藤 明	GOTO Akira	38, 40
後藤 武秀	GOTO Takehide	33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50
クリス・グリーン	GREEN, Chris	24
顧 林生	GU Linsheng	38, 39, 40
顧 清揚	GU Qingyang	28
関 権	GUAN quan	43, 44

【H】

芳賀 正明	HAGA Masaaki	13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 30, 33, 34, 35
量 義治	HAKARI Yoshiharu	35
韓 忠超	HAN Zhongchao	38
郝 仁平	HAO Renping	39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 50
郝 潤平	HAO Runping	43
針生 清人	HARIU Kiyoto	9, 12, 13, 15, 16, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42
橋本 和子	HASHIMOTO Kazuko	41
波多野 太郎	HATANO Taro	15, 16, 19, 24, 25
服部 美奈	HATTORI Mina	43, 44
何 信鈴	HE Xin-qian	24

ヘルマン・ヒダヤ	HIDAYAT, Herman	26
比嘉 政夫	HIGA Masao	31
比嘉 佑典	HIGA Yuten	13, 14, 15, 17, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45
疋田 聰	HIKITA Satoshi	33
平野 耿	HIRANO Akira	11
許 世旭	HOE Se-Wook	19
北條 祐勝	HOJO Yusho	21, 23, 24, 26, 27, 29, 31, 33, 34, 36, 39
本多 守	HONDA Mamoru	45, 46, 47, 48, 50
本田 春玲	HONDA Shunrei	13
本田 徹夫	HONDA Tetsuo	19, 22, 23, 24, 25, 28
范 宏貴	HONG Gui fan	35
本名 純	HONNA Jun	49, 50
堀抜 功二	HORINUKI Koji	45
胡 起望	HU Qiwang	29
黄 一夫	HUANG Yifu	28

【1】

市村 其三郎	ICHIMURA Kisaburo	1, 3, 4, 5, 11, 12, 14
井出 弘毅	IDE Kohki	41, 43, 45, 46, 47, 48, 49
飯塚 勝重	IIZUKA Katsushige	1, 3, 7, 9, 21, 23, 24, 26, 27, 29, 31, 32, 33, 34, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50
池田 正敏	IKEDA Masatoshi	43
池田 雄一	IKEDA Yuichi	7, 14, 18
今田 好彦	IMADA Yoshihiko	26, 28, 32, 33
今泉 信雄	IMAIZUMI Nobuo	24
今富 正巳	IMATOMI Masami	8, 10, 14, 16, 17, 18, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 27
井上 敬一	INOUE Keiichi	5, 10, 22, 24
井上 亮	INOUE Ryo	29
井上 星児	INOUE Seiji	26, 31, 33, 37, 38, 39, 40, 41, 44
井上 貴也	INOUE Takaya	38, 39, 40, 43, 44, 45, 46, 48, 50
石井 正子	ISHII Masako	49, 50
石井 正幸	ISHII Masayuki	40
石井 隆憲	ISHII Takanori	43, 44, 45, 46, 47, 48, 49
(→宇佐美隆憲 USAMI Takanori も見よ)		
石川 重雄	ISHIKAWA Shigeo	47
石丸 由美	ISHIMARU Umi	44
石岡 浩	ISHIOKA Hiroshi	45, 46, 47, 48
石渡 延男	ISHIWATA Nobuo	38
石附 さゆみ	ISHIZUKI Sayumi	49
磯村 英一	ISOMURA Eiichi	14
伊藤 眞	ITO Makoto	49, 50
岩田 剛	IWATA Go	48

【J】

謝花	良政	JAHANA Yoshimasa	36
ジャスリ・ジャマル	JAMAL, Jasri		47
蔣	廷瑜	JIANG Ting yu	39

【K】

甲斐	資朗	KAI Shiro	38
貝吹	一成	KAIBUKI Kazunari	50
郝	仁平	KAKU Jinpei	
(→ HAO Renping を見よ)			
神邊	敏	KAMBE Satoshi	32
金岡	照光	KANAOKA Shoko	9
金子	量重	KANEKO Kazushige	37
神作	光一	KANSAKU Koichi	24
高	明士	KAO Mingshih	36
加藤	千恵子	KATO Chieko	50
加藤	剛	KATO Tsuyoshi	49, 50
勝木	英夫	KATSUKI Hideo	34
川上	崇	KAWAKAMI Takashi	47, 48, 50
菊池	良輝	KIKUCHI Yoshiteru	7, 21, 23, 24, 26, 27, 29, 31, 33, 34, 36, 37, 42, 43, 44, 45
金	東光	KIM Dong Kwang	40, 41, 42, 43
金	洪玉	KIM Hong Ok	46
クワン・S・キム	KIM, Kwan S.		47, 48
金	美榮	KIM Mi Young	32, 44
金	善政	KIM Seon Jeong	50
金	龍澤	KIM Yong-Taek	22, 24
木内	明	KIUCHI Akira	42, 46
小林	秀年	KOBAYASHI Hidetoshi	41
小林	正夫	KOBAYASHI Masao	38, 41, 43, 47
小林	忠秀	KOBAYASHI Tadahide	16
小林	隆夫	KOBAYASHI Takao	10, 12, 14, 18, 20, 21, 22, 24, 26, 27, 28, 29, 31, 33, 34, 35
児玉	香菜子	KODAMA Kanako	44
洪	祖顕	KOH Soken	27
小浜	正幸	KOHAMA Masayuki	31
小泉	允雄	KOIZUMI Masao	17, 18, 21
駒井	洋	KOMAI Hiroshi	7
駒井	義昭	KOMAI Yoshiaki	38, 39, 40, 41, 43, 45
是澤	博昭	KORESAWA Hiroaki	36, 37
河野	次郎	KOUNO Jiro	30, 32, 36, 38
河野	稠果	KOUNO Shigemi	22
小澤	康則	KOZAWA Yasunori	29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 43, 44, 46, 47, 48, 49, 50

窪田	寛	KUBOTA Hiroshi	30
倉内	史郎	KURAUCHI Shiro	3, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 26, 27, 28, 32, 33, 34
黒田	信一郎	KURODA Shinichiro	7
郭	泳宇	KWACK Yong-Woo	20, 22

【L】

林	麗貞	LAM Lye Ching	25
李	澧鍾	LEE Dal-Chong	27
李	芝妍	LEE Jiyeon	44, 46, 48, 49, 50
李	南植	LEE Namsik	29
李	哲松	LEE Seungchul	46
シナン・レヴェント		LEVENT, Sinan	49
李	思純	LI Sichun	40
李	秀文	LI Xiuwen	49
李	志春	LI Zhichun	43
梁	谷音	LIANG Guyin	31
廖	国一	LIAO Guoyi	42, 43, 44, 45, 46, 47
林	瀚	LIN Han	48
凌	星光	LING Xian-guang	23
劉	異龍	LIU Yilong	31
劉	永鵠	LIU Yongge	50
劉	永光	LIU Yongguang	46, 48, 49, 50
羅	歆鎮	LUO Huanzhen	41, 43

【M】

松本	誠一	MATSUMOTO Seiichi	9, 11, 14, 15, 16, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50
カール・マインホフ		MEINHOF, Carl	2
南	亮進	MINAMI Ryoshin	43, 44
箕曲	在弘	MINOO Arihiro	50
三尾	真琴	MIO Makoto	35
三沢	伸生	MISAWA Nobuo	36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 50
三浦	節夫	MIURA Setsuo	33
宮川	朝一	MIYAKAWA Asaichi	38, 39
宮下	良子	MIYASHITA Ryoko	43, 46, 47, 48, 50
森川	久次郎	MORIKAWA Kyujiro	7, 13, 14, 15, 16, 17
森田	芳夫	MORITA Yoshio	21, 22

【N】

永田	脩一	NAGATA Shuichi	37
長津	一史	NAGATSU Kazufumi	42, 46, 47, 48, 49, 50

内藤	智秀	NAITO Chishu	1, 2, 6, 8
中村	理恵	NAKAMURA Rie	45, 46, 48, 49, 50
中村	俊亀智	NAKAMURA Shunkichi	10, 11
中村	保	NAKAMURA Tamotsu	33
中西	嘉宏	NAKANISHI Yoshihiro	43
中下	正治	NAKASHITA Masaharu	9, 14, 16, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 27, 29
中田	有紀	NAKATA Yuki	44, 46, 48
名雪	健二	NAYUKI Kenji	50
子島	進	NEJIMA Susumu	40, 42, 46, 47, 49
西村	誠	NISHIMURA Makoto	6, 7, 8, 10, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 24, 25, 28, 29, 34
西村	重夫	NISHIMURA Shigeo	26
西野	節男	NISHINO Setsuo	19, 20, 21, 23, 26, 27, 28, 29, 31, 32, 33, 34, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44
新田	幸治	NITTA Koji	9, 12, 16, 17, 19, 20, 21, 22, 23, 36, 39
野間	信幸	NOMA Nobuyuki	30, 31, 33, 34, 36, 38, 40, 46, 50
野溝	七生子	NOMIZO Naoko	1, 4, 5, 11, 12, 14
沼田	彩誉子	NUMATA Sayoko	48

【O】

小田川	圭甫	ODAGAWA Keisuke	31
ウトモ・スリ・トニワティ		OETOMO Sri Toniwaty	25
大畑	裕嗣	OHATA Hiroshi	39, 40
大越	公平	OHGOSHI Kohei	17, 18, 19, 20, 21, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 30, 31, 32, 34, 36, 38, 40, 41, 42
大澤	広嗣	OHSAWA Kohji	40, 42, 43, 46, 47
大川	正彦	OKAWA Masahiko	25, 26, 27, 28, 30, 35, 48, 50
岡崎	秀紀	OKAZAKI Hideki	33
奥間	葉子	OKUMA Yoko	30, 32
奥山	直司	OKUYAMA Naoji	43, 46, 49
大森	元吉	OMORI Motoyoshi	14
大室	智人	OMURO Tomohito	50
恩田	彰	ONDA Akira	1, 3, 4, 11, 12, 14, 15, 16, 20, 21, 22, 23, 27, 28, 30, 34
大島	建彦	OSHIMA Tatehiko	36
大城	美樹雄	OSHIRO Mikio	40, 42
太田	辰幸	OTA Tatsuyuki	38, 39, 40, 41, 49
太田	雄三	OTA Yuzo	31

【P】

朴	華述	PARK Hwa-Sool	22
朴	在侃	PARK Jae-Gan	22
朴	光淳	PARK Kwang Soon	17, 40
朴	聖雨	PARK Seong-woo	27

パルマン Parman	50
ピライパン・メカラッタナ PILAIPAN Mekaratana	25
パラミタ・プラナニンチャス PRANANINGTYAS, Paramita	48

【R】

ムルニ・ラムリ RAMLI, Murni	48
柳 時中 RYU Si-Jung	22

【S】

アントニサーミ・サガラヤージ SAGAYARAJ, Antonysamy	44
斎藤 洋 SAITO Hiroshi	41
斎藤 里美 SAITO Satomi	50
坂井 多穂子 SAKAI Tahoko	46
真田 安 SANADA Yasushi	10, 26, 28, 36
佐々木 彩 SASAKI Sai	44, 48
佐藤 章 SATO Akira	38
佐藤 三千夫 SATO Michio	23, 32, 35, 36, 37
佐藤 俊一 SATO Shun'ichi	38, 39, 40, 41, 42, 43, 44
佐藤 俊雄 SATO Toshio	4, 7, 8, 12, 13, 14
瀬名 敏夫 SENA Toshio	38
成 炳禧 SEONG Byeon Hee	29
セイト・セルトチェリク SERTÇELIK, Seyit	42
ロファ・ストワティ SETYOWATI, Ro'fah	47
余 之祥 SHE Zhixiang	38
沈 紅 SHEN Hong	28
島袋 正敏 SHIMABUKURO Masatoshi	36
島袋 勉 SHIMABUKURO Tsutomu	17, 20, 21, 22, 23, 25, 28, 29
清水 浩昭 SHIMIZU Hiroaki	10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 37
新江 利彦 SHINE Toshihiko	43
続 三義 SHOKU Sangi	
(→ XU Sanyi を見よ)	
アーノルド・B・スクローム SKROMME, Arnold. B.	27
左右田 直規 SODA Naoki	49, 50
ソウ・ウィン Soe Win	32
蘇 真 SU Zhen	29
末木 剛博 SUEKI Takehiro	27
末成 道男 SUENARI Michio	34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 43
菅野 卓雄 SUGANO Takuo	34
杉浦 正健 SUGIURA Seiken	5
スキルノ Sukirno	48
隅田 正三 SUMITA Shozo	33
鈴木 信昭 SUZUKI Nobuaki	32

鈴木	哲郎	SUZUKI Tetsuro	39, 40, 41
鈴木	佑記	SUZUKI Yuki	50

【T】

田原	洋樹	TAHARA Hiroki	38
高木	晶子	TAKAGI Akiko	41, 42, 43
高橋	正樹	TAKAHASHI Masaki	38, 39, 40, 44
高橋	忠久	TAKAHASHI Tadahisa	44
高橋	統一	TAKAHASHI Toichi	2, 4, 5, 6, 7, 8, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 36, 39, 40
高橋	継男	TAKAHASHI Tsuguo	21, 28, 34, 40, 41, 49, 50
高尾	公矢	TAKAO Kimiya	11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
高瀬	奈津子	TAKASE Natsuko	36
高津	茂	TAKATSU Shigeru	15, 17, 18, 20, 21, 22, 23, 30, 34, 39, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48
高山	龍三	TAKAYAMA Ryuzo	33, 37
竹村	牧男	TAKEMURA Makio	44
竹内	老子	TAKEUCHI Toshiko	22, 23, 26, 27, 28, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 40, 41, 43, 44
竹内	洋介	TAKEUCHI Yosuke	40, 41, 45, 46, 48, 50
玉口	時雄	TAMAGUCHI Tokio	15, 23
玉野	卓也	TAMANO Takuya	40, 41
田村	晃祐	TAMURA Koyu	33
譚	灝莎	TAN Yansha	45
田中	忠仁	TANAKA Chuji	30
丹藤	佳紀	TANDO Yoshinori	36, 40
谷口	房男	TANIGUCHI Fusao	3, 4, 7, 8, 9, 10, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 21, 23, 24, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 36, 37, 38, 39, 40, 42, 44
ファム・タイン・トーイ		THÔI, PHẠM THANH	50
田	暉	TIAN Hui	46
都甲	裕文	TOKO Hirofumi	34, 35, 37, 50
東長	靖	TONAGA Yasushi	41
トゥリヨノ		Triyoro	48

【U】

植野	弘子	UENO Hiroko	41, 42
浦田	彰彦	URATA Akihiko	33
宇佐美	隆憲	USAMI Takanori	28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36,
(→石井	隆憲	ISHII Takanori も見よ)	37, 38, 39, 40, 41
薄木	三生	USUKI Mitsuo	39

【W】

若林	建志	WAKABAYASHI Takeshi	33
王	辰	WANG Chen	50
王	峰虎	WANG Fenghu	43, 45
王	漢儒	WANG Hanru	43, 44
王	淨華	WANG Jinghua	40, 50
王	極盛	WANG JiSheng	25, 27
王	慶根	WANG Qinggen	25, 28
王	秋華	WANG Qiuhua	26, 29, 31, 40, 42
王	潤華	WANG Runhua	20
王	相宜	WANG Xiangyi	25
王	學群	WANG Xuequn	44
王	雅芳	WANG Yafang	46
王	亞新	WANG Yaxin	35
渡邊	暁子	WATANABE Akiko	45
渡邊	宏	WATANABE Hiroshi	6, 7, 10, 11, 12, 13, 14, 16, 18, 30, 31
渡辺	満久	WATANABE Mitsuhsa	38
韋	韋	WEI Wei	40
文	輔相	WEN fuxiang	28, 30
呉	傑	WU Jie	21
呉	克強	WU keqiang	45
呉	紹洪	WU Shaohong	38
呉	主恵	WU Zhuhui	5, 15

【X】

謝	浩民	XIE Haomin	41, 43
許	立言	XU Liyan	22
徐	瑞静	XU ruijing	49, 50
続	三義	XU Sanyi	43, 44, 45, 46, 47, 48, 49
徐	朝龍	XU zhaolong	27

【Y】

ノール・イナヤ・ヤコブ	YAAKOB, Noor Inayah	47
山形	勝義 YAMAGATA Katsuyoshi	47, 50
山口	裕子 YAMAGUCHI Hiroko	49
山本	須美子 YAMAMOTO Sumiko	42, 44, 46, 47, 48, 49, 50
山下	清海 YAMASHITA Kiyomi	37
山内	四郎 YAMAUCHI Shiro	11, 21, 23, 24, 26, 27, 29, 31, 33, 35
楊	徳剛 YANG Degang	38
楊	松年 YANG SongNian	24
梁	淳琚 YANG Soonpil	23
姚	啓和 YAO Qihe	28
葉	道猛 YE Daomeng	42

ラマザン・ユルドゥルム	YILDIRIM, Ramazan	42
横川 伸	YOKOKAWA Shin	24, 37, 39, 40, 41, 43
米田 公丸	YONEDA Kimimaru	25, 26, 27, 28, 30, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41
米澤 正雄	YONEZAWA Masao	42, 43, 44, 46, 47
吉田 公平	YOSHIDA Kohei	38, 39, 40
吉田 辰雄	YOSHIDA Tatsuo	24, 25, 26, 27, 28, 30, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 40, 41, 45
吉田 達矢	YOSHIDA Tatsuya	45, 48
吉川 美華	YOSHIKAWA Mika	49, 50
吉本 康子	YOSHIMOTO Yasuko	48
袁 少芬	YUAN Shaofen	38
サキナ・シヤイ・アフマツ・ユソフ	YUSOFF, Sakina Shaik Ahmad	47

【Z】

張 道宝	ZHANG Daobao	40
張 光珮	ZHANG Guang-pei	23
張 軍拡	ZHANG Junkuo	43
張 玉岭	ZHANG Yuling	20
鄭 国和	ZHENG Guohe	31
鄭 如夢	ZHENG Rumeng	50
志丹県人民政府	ZHIDANXIAN Renminzhengfu	40
鐘 偉芳	ZHONG Weifang	28
中国共産党志丹県委員会	ZHONGGUOGONGCHANDANG Zhidanxian weiyuanhui	40
朱 大明	ZHU Daming	49, 50
祝 平	ZHU Ping	20
朱 炎	ZHU Yan	44

東洋大学アジア文化研究所 研究年報 2015年 第50号 別冊

東洋大学アジア・アフリカ文化研究所 研究年報 第1-36号

東洋大学アジア文化研究所 研究年報 第37-50号

総目次

Annual Journal of The Asia-Africa Cultural Research Institute, No.1-36.

Annual Journal of the Asian Cultures Research Institute, No.37-50.

Total Table of Contents

2016年2月22日 印刷

2016年2月29日 発行

印刷・製本 ヨシダ印刷株式会社

〒130-0014 東京都墨田区亀沢3-20-14

TEL 03-3626-1301

編集・発行 東洋大学アジア文化研究所

所長 松本誠一（まつもと せいいち）

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

TEL 81-(0)3-3945-7490

FAX 81-(0)3-3945-7513

© 2016 by Asian Cultures Research Institute, TOYO University, Tokyo, JAPAN

Printed in Japan.

All Rights reserved.

ISBN 978-4-903878-13-3

C3000 ¥00000 E



Annual Journal of the Asia-Africa Cultural Research Institute,
No.1-36.

Annual Journal of the Asian Cultures Research Institute,
No.37-50.

Total Table of Contents

Published by
Asian Cultures Research Institute
former Asia-Africa Cultural Research Institute
Toyo University
5-chome 28-20, Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan
ISBN 978-4-903878-13-3 C3000 ¥00000 E